

第5次
袋井市スポーツ推進計画
(令和8年度～令和12年度)
【案】

令和8年●月
袋井市

目次

第1章 計画策定にあたって	1
1 計画策定の趣旨と背景	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画の期間	2
第2章 スポーツ推進の意義	3
1 スポーツの価値と可能性	3
2 スポーツのとらえ方	3
第3章 スポーツを取り巻く現状と今後の方向性	4
1 国や県の動き	4
2 スポーツに関する市民意識調査の結果について	6
3 2024年度（令和6年度）全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果	27
4 第4次計画の検証・評価と現状	31
5 計画見直しの視点	36
第4章 第5次袋井市スポーツ推進計画	41
1 基本方針	41
2 基本的な視点と基本目標	41
3 施策体系	42
4 評価指標一覧	44
第5章 施策の展開	45
基本目標1 スポーツを楽しむ機会の充実	45
(1) こどもの体力向上につながるスポーツの普及	45
(2) 成人の健康増進・介護予防を支えるスポーツの普及	47
(3) 多様な人と一緒に楽しむスポーツの普及	48
(4) スポーツを通じた市民の交流・地域コミュニティの活性化	49
(5) 効果的なスポーツ情報の発信	50
基本目標2 多様なスポーツを支える場と人の充実	51
(1) スポーツのできる場の適切な管理と有効活用	51
(2) スポーツを支える人材の育成	52
(3) 地域団体や民間企業等との連携によるスポーツ活動を支える持続可能なプラットフォームの構築	54
(4) 地域のスポーツをリードするアスリートの育成	56
基本目標3 スポーツの魅力による地域活力の創出	57
(1) 大型スポーツ施設を活用した観戦機会の充実	57
(2) 地域資源を活用したスポーツツーリズムの推進	58
(3) プロスポーツチーム等・民間団体との連携の推進	59
(4) スポーツを通じたシティプロモーション	60

第6章 スポーツ推進計画の実現に向けて.....	61
1 各主体の役割.....	61
2 計画の推進体制.....	62
資料編.....	64

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨と背景

スポーツは、「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養（かんよう・無理をしないでゆっくりと養い育てるここと）等のために個人または集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、今日、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で、不可欠のものとなっている。」と広く捉えられており、2011年（平成23年）に公布された国の「スポーツ基本法」では「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、すべての人々の権利」であるとされています。

こうしたことから、国においては2015年（平成27年）にスポーツ振興やスポーツに関する施策の総合的な推進を図ることを目的としたスポーツ庁を発足しました。また、2022年（令和4年）3月に「第3期スポーツ基本計画」を策定し、新たに①スポーツを「つくる／はぐくむ」、②スポーツで「あつまり、ともに、つながる」③スポーツに「誰もがアクセスできる」の3つの視点を示しています。

2019年（令和元年）に開催されたラグビーワールドカップ2019™など、袋井市内のみならず、国内でのスポーツに対する機運は高まりをみせていましたが、同年12月以降は新型コロナウイルスの感染拡大により、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の延期、また、全国高等学校総合体育大会をはじめとする大規模スポーツイベントの中止や、各種プロスポーツの開催時期・方法の変更など、すべてのスポーツ推進に大きな衝撃、影響を与えました。

いわゆる「コロナ禍」を経て、スポーツを通じた健康の保持及び増進やストレス解消、交流促進などのスポーツの価値が再認識されるとともに、人口減少や少子化・高齢化の進行に伴うスポーツに参画する者の減少やスポーツ指導者をはじめとした担い手の不足など、スポーツをめぐる状況は大きく変化しています。

本市では、2021年（令和3年）に「第4次袋井市スポーツ推進計画（以下、「第4次計画」という）」を策定し、「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができるスポーツ文化の推進」を基本方針として、市民のスポーツ活動の推進を図ってきました。

2025年度（令和7年度）で第4次計画の計画期間が満了となることから、同計画に基づき展開してきた施策や現在のスポーツを取り巻く状況、課題等を整理・検証するとともに、「スポーツ基本法」及び国・県の計画、さらには、新型コロナウイルスによる影響を含む社会全体の情勢を踏まえ、本市が計画的、かつ総合的に市民のスポーツ推進に取り組んでいくため、「第5次袋井市スポーツ推進計画」を策定するものです。

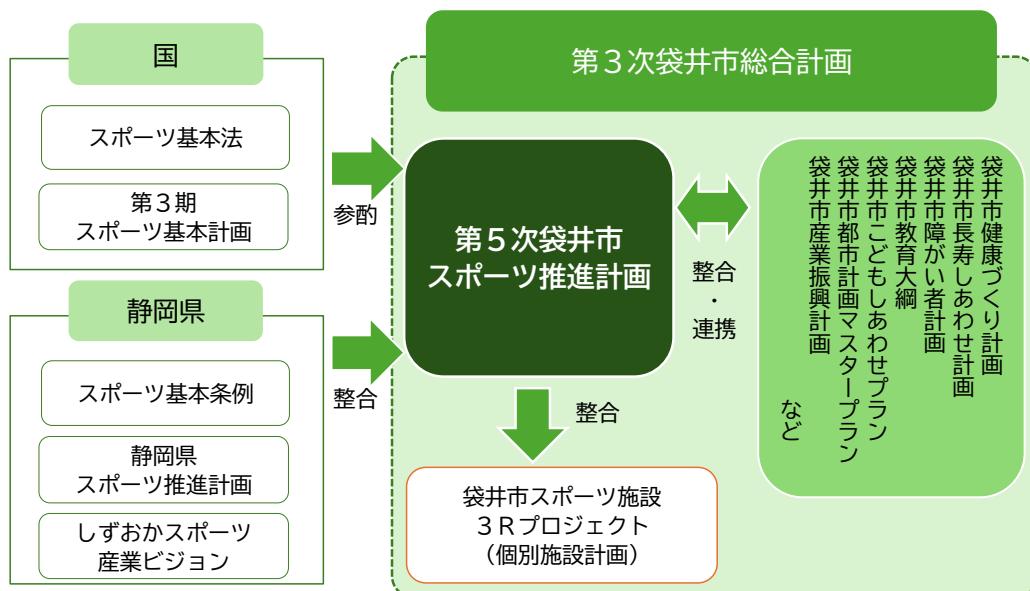
2 計画の位置づけ

本計画は、国の「スポーツ基本法」第10条に規定されている「地方スポーツ推進計画」として位置づけるものです。

また、本計画は、「第3次袋井市総合計画」を上位計画に、まちの将来像である「にぎわい ずっと続くまち ふくろい」の実現に向け、スポーツを活かした交流の促進をすすめていく上で、スポーツ推進施策を計画的かつ総合的に定める個別計画として位置付けます。加えて、市内公共スポーツ施設の長寿命化等の整備方針に関する「袋井市スポーツ施設 3Rプロジェクト（個別施設計画）」の上位計画としても位置付けます。

また、国の「第3期スポーツ基本計画」を参照するとともに、2026年（令和8年）に策定された「静岡県スポーツ推進計画」との整合を図ります。

【図表1－1 計画関係図】



3 計画の期間

本計画は、2026年度（令和8年度）から2030年度（令和12年度）までの5か年間を計画期間とします。

なお、この期間中、計画の進行状況や社会情勢等の変化により、必要に応じて計画の見直しを行います。

【図表1－2 計画期間】

計画名	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(国) 第3期スポーツ基本計画						
静岡県スポーツ推進計画						
第3次袋井市総合計画						(～令和18年度)
第5次袋井市スポーツ推進計画						

第2章 スポーツ推進の意義

1 スポーツの価値と可能性

スポーツに親しむことは、心身の健全育成や体力の向上、健康の維持・増進、楽しみや喜び、爽快感や達成感等の精神的な充足感の獲得につながり、他者を尊重する意識や協調性、自律心や公平さを尊ぶ態度、実践的な思考力や判断力を育むといった人格の形成にも大きな影響を与えます。

また、スポーツに親しむ人が増えることで、健康寿命の延伸と医療・介護費の削減・抑制、多様性を認め合う意識の醸成、地域コミュニティの活性化、市民活力の創出、地域経済の活性化等の効果が期待できます。

このように、スポーツは個人として楽しさや喜びを得られるだけではなく、地域の課題解決に資する役割も期待できます。

2 スポーツのとらえ方

スポーツ (sport) という言葉は、ラテン語で「気晴らしをする」、「楽しむ」、「遊ぶ」を意味する「deportare (デポルターレ)」に由来する単語と言われています。この言葉が、古フランス語の「desport (デスポート)」を経て、英語の「disport」となり、そして、現在の「sport」に至ったとされています。また、競技や種目の集合体を表現する際に用いられることが一般的な「sports」と異なり、「sport」は人類共通の文化としてのスポーツを意味する言葉としてとらえられています。

本計画では、市民がスポーツ (sport) をより身近なものとして楽しみ、人類共通の文化として親しむことができるよう、スポーツの語源や「スポーツ基本法」で示されている定義を踏まえ、スポーツの概念を幅広くとらえます。具体的には、勝敗や記録を競うものだけではなく、身体を動かす遊びやレクリエーション、散歩やウォーキング、健康づくり・介護予防のためのトレーニングや体操なども含め、自発的に楽しむ身体活動全てをスポーツとしてとらえます。

第3章 スポーツを取り巻く現状と今後の方向性

1 国や県の動き

(1) 国の動向

●東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、史上初めて1年延期され、2021年（令和3年）に原則無観客によりオリンピックが開催されました。

●第3期スポーツ基本計画の策定

〔計画期間 2022年度（令和4年度）～2026年度（令和8年度）〕

2022年（令和4年）3月に策定された「第3期スポーツ基本計画」では、スポーツを「つくる／はぐくむ」、スポーツで「あつまり、ともに、つながる」、スポーツに「誰もがアクセスできる」といった視点が示され、スポーツを通した Well-Being¹の実現を目指しています。

【図表3－1 第3期スポーツ基本計画における3つの視点】

新たな視点	重点施策
スポーツを「つくる／はぐくむ」	<ul style="list-style-type: none">■多様な主体が参画できるスポーツの機会創出■自主性・自律性を養う指導ができるスポーツ指導者の養成■スポーツ界におけるDXの導入
「あつまり」、スポーツを「ともに」行い、「つながり」を感じる	<ul style="list-style-type: none">■スポーツを通じた共生社会の実現■スポーツ団体のガバナンス・経営力強化、関係団体等の連携・協力を通じたわが国のスポーツ体制の強化■スポーツを通じた国際交流
スポーツに「誰もがアクセス」できる	<ul style="list-style-type: none">■地域において、住民の誰もが気軽にスポーツに親しめる「場づくり」等の機会の提供■アスリート育成パスウェイの構築およびスポーツ医・科学、情報等による支援の充実■本人が望まない理由でスポーツを途中で諦めることがないよう継続的なアクセスの確保

●中学校の部活動地域展開・地域クラブ活動の推進

急激な少子高齢化の進展等により、従来のような形での部活動の実施が困難になっていることを踏まえ、文部科学省では、厳しい状況の中でもこどもたちがスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を確保するため、2022年（令和4年）12月に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定し、休日における学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行について、2023年度（令和5年度）から2025年度（令和7年度）までの3年間を「改革推進期間」と位置付けました。

その後、「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」による審議結果（最終とりまとめ）を踏まえ、2026年度（令和8年度）から2031年度（令和13年度）を改革実行期間と位置付け、期間中に全ての休日の学校部活動において地域展開の実現を目指すとしています。

1 Well-Being: 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

(2) 静岡県の動向

●第4期静岡県スポーツ推進計画の策定

〔計画期間 2025年度（令和7年度）～2028年度（令和10年度）〕

第4期静岡県スポーツ推進計画では、「オール静岡で実現する、スポーツによる県民のウェルビーイングの向上」を実現するために、「スポーツによる豊かで、幸せな暮らし・社会の実現」、「スポーツの魅力による地域活力の醸成」の2項目を基本方針とし、関係機関と連携しながら取り組むこととしています。

【図表3－2 静岡県スポーツ推進計画の体系】

基本理念	基本方針	施策の柱
ウスオ エポール ルール ビツ静岡 による実 現の民す る、上	基本方針1 スポーツによる豊かで、 幸せな暮らし・社会の実現	柱1：楽しさ・喜びにあふれる Sport in Life の実現 柱2：スポーツを通じた誰もが活躍できる社会の実現 柱3：スポーツを通じた人間性や競技力の向上
	基本方針2 スポーツの魅力による 地域活力の醸成	柱4：スポーツによる地域の活性化 柱5：スポーツの成長産業化

●しづおかスポーツ産業ビジョンの策定

〔計画期間 2025年（令和7年）～2035年（令和17年）〕

スポーツの成長産業化が推進されている中で、静岡県では新たに「しづおかスポーツ産業ビジョン」を策定し、スポーツが持つ「地域に集める」、「地域をつなげる」、「地域を育てる」という力を活かし、スポーツの成長産業化に向けた10年後の目指すべき姿や、静岡県、県内市町、プロスポーツチーム、民間企業等のスポーツ関係者それぞれが取り組むべき施策をとりまとめています。

【図表3－3 しづおかスポーツ産業ビジョンの体系】

目指すべき姿	施策	方向性
「ス ポ ー ツ ・ コ ネ ク テ イ ッ ド ・ フ ィ ー ル ド 」 の 実 現	施策1 “みる”スポーツの拡大を通じた 地域への好循環の創出	・“みる”スポーツの魅力向上により、市場規模の拡大 や地域活性化につなげる好循環を創出
	施策2 県内産業とスポーツ分野の共創 事業展開	・スポーツチームをはじめとする県内のスポーツ資源 や、県内産業との融合による新たな産業創出
	施策3 地域資源を活用した県外からの 人の呼び込み	・豊富なスポーツ・観光資源を活かしたスポーツツー リズムの推進による交流人口の拡大
	施策4 地域スポーツの振興	・部活動の地域展開に向けたスポーツ環境の整備 ・スポーツを通じたコミュニティ形成による Well- being の向上と健康寿命の延伸
	施策5 スポーツを支える人材育成	・支える人材の活用を通じた「する」「みる」スポーツ の拡大

2 スポーツに関する市民意識調査の結果について

第5次袋井市スポーツ推進計画策定の基礎資料とするため、2024年度(令和6年度)に「第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査」を実施しました。

【図表3－4 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査の概要】

第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査	
調査対象者	袋井市在住の18歳以上の市民から無作為抽出
調査票配布数	3,000人
調査期間	2024年(令和6年)7月12日～7月31日
調査方法	郵送配布、郵送回収及びインターネットによるオンライン回答
回収数	978人
回収率	32.6%

(1) スポーツを「する」について

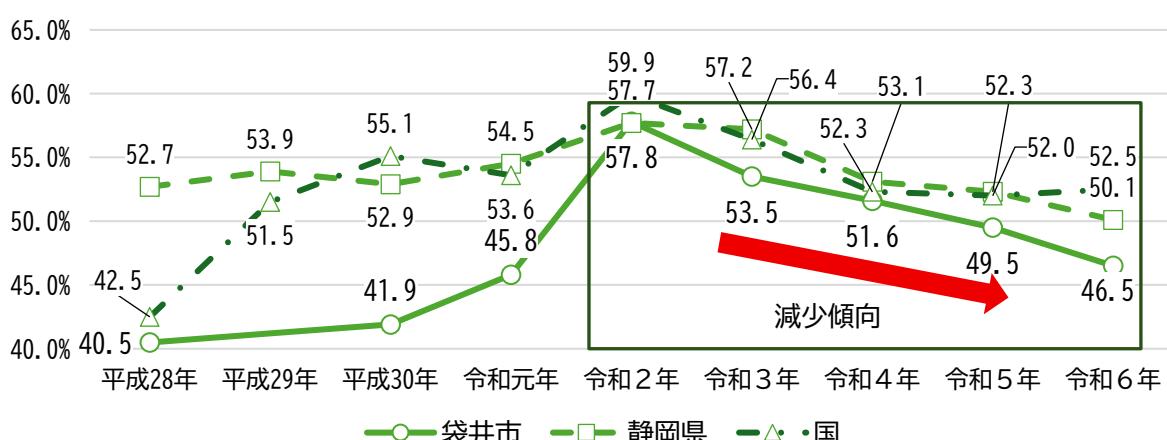
〈特徴〉

- ・週1回以上、スポーツを行った人の割合は46.5%。令和2年調査(57.8%)を下回っている。特に30～40歳代は実施率が低い。
- ・スポーツをすることが好きと答えた人の割合は7割と高くなっている。
- ・スポーツをしなかった理由は、「時間がない」が6割と最も多く、前回調査より増加。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツの習慣の「回数が減った、やめた」が2割。

① 成人の週1回以上のスポーツの実施率

成人の週1回以上のスポーツの実施率について、2020年(令和2年)以降は減少傾向にあり、2024年(令和6年)では46.5%となっています。

【図表3－5 成人の週1回以上のスポーツの実施率】



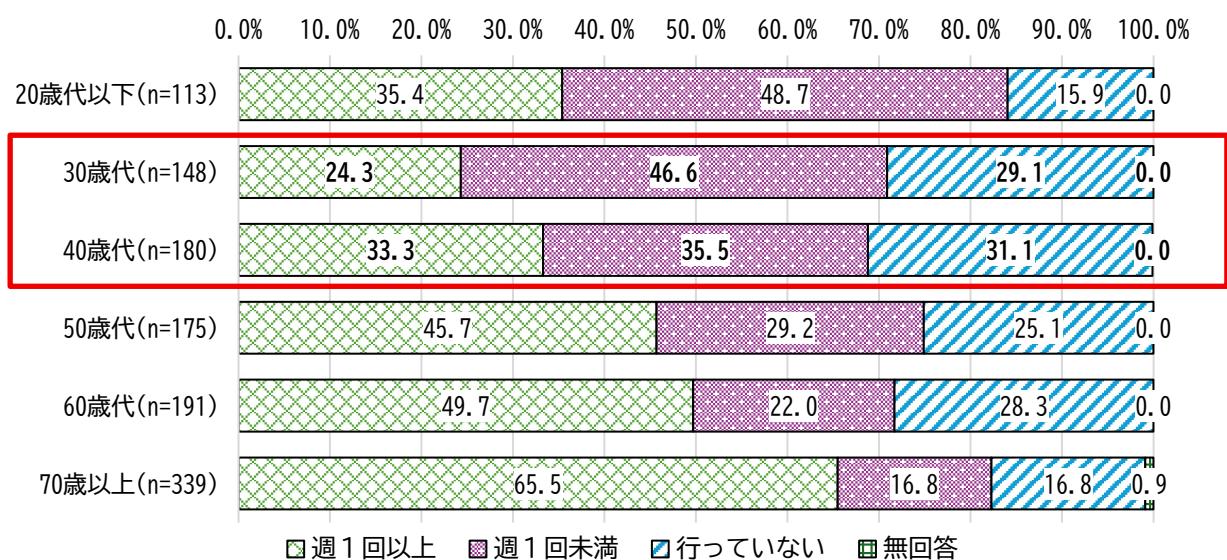
(資料) 第4次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査(2020年(令和2年))
袋井市総合計画推進に係る市民意識調査(2026年(平成28年)～2019年(令和元年)、2021年(令和3年)～2024年(令和6年))

② 年齢別のスポーツ実施率

成人の週1回以上のスポーツの実施率を年齢別にみると、70歳代以上では「週1回以上」が過半数となっていますが、30歳代、40歳代では他の年齢に比べて「週1回以上」が低く、「行っていない」が高くなっています。

性・年齢別にみると、男女ともに30歳代、60歳代で「行っていない」が高くなっていますが、男性では70歳以上、女性では40歳代も「行っていない」が高くなっています。

【図表3-6-1 年齢別のスポーツ実施率】



(資料) 令和6年度 袋井市総合計画推進に係る市民意識調査

【図表3-6-2 性・年齢別のスポーツ実施率】

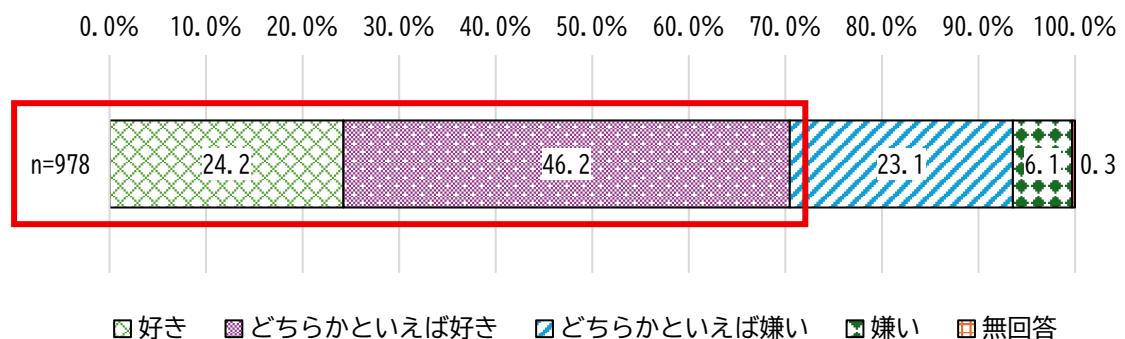
	回答数(件)	週1回以上	週1回未満	行っていない	無回答
男性 20歳代以下	41	41.5	43.9	14.6	0.0
30歳代	62	27.4	43.6	29.0	0.0
40歳代	71	30.9	42.2	26.8	0.0
50歳代	79	45.6	30.4	24.1	0.0
60歳代	84	46.5	22.6	31.0	0.0
70歳以上	84	46.5	22.6	31.0	0.0
女性 20歳代以下	66	30.3	51.5	18.2	0.0
30歳代	78	23.0	50.0	26.9	0.0
40歳代	103	36.9	30.1	33.0	0.0
50歳代	87	47.0	28.7	24.1	0.0
60歳代	103	51.5	21.4	27.2	0.0
70歳以上	171	69.6	14.6	14.0	1.8

(資料) 令和6年度 袋井市総合計画推進に係る市民意識調査

③ スポーツや運動をすることが好きか

スポーツや運動をすることが好きかについて、“好き”（「好き」と「どちらかといえば好き」の合計。以下「好き」）が 70.4%、“嫌い”（「どちらかといえば嫌い」と「嫌い」の合計。以下「嫌い」）が 29.2%となっています。

【図表3－7 スポーツや運動をすることが好きか】



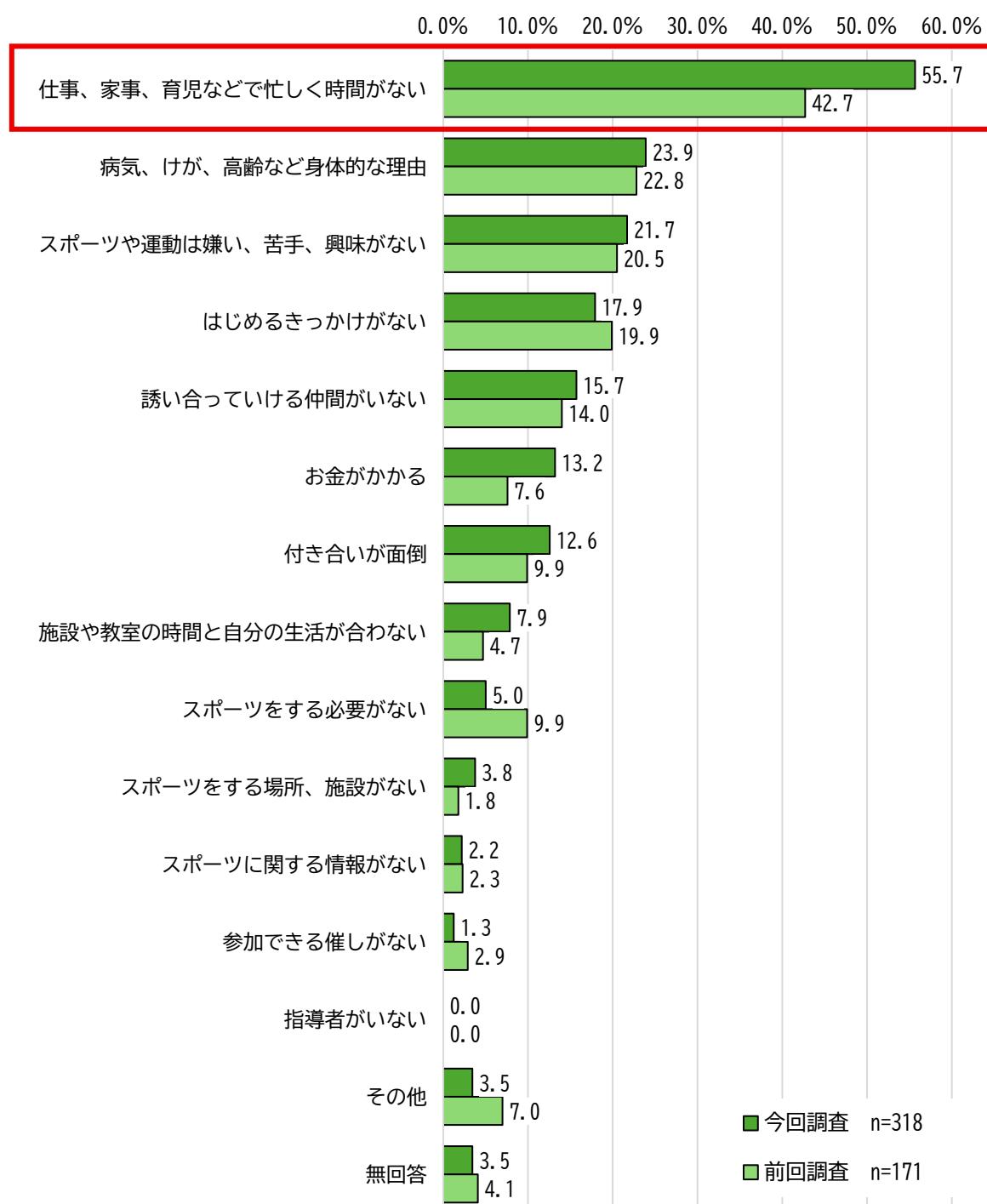
（資料）第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

④ スポーツや運動をしなかった主な理由

この1年間にスポーツや運動はまったくしなかったと答えた人に、その主な理由を尋ねると、「仕事、家事、育児などで忙しく時間がない」が55.7%と最も高く、次いで「病気、けが、高齢など身体的な理由」が23.9%、「スポーツや運動は嫌い、苦手、興味がない」が21.7%となっています。

前回調査と比較すると、「仕事、家事、育児などで忙しく時間がない」が10ポイント以上増加しています。

【図表3－8 スポーツや運動をしなかった主な理由】

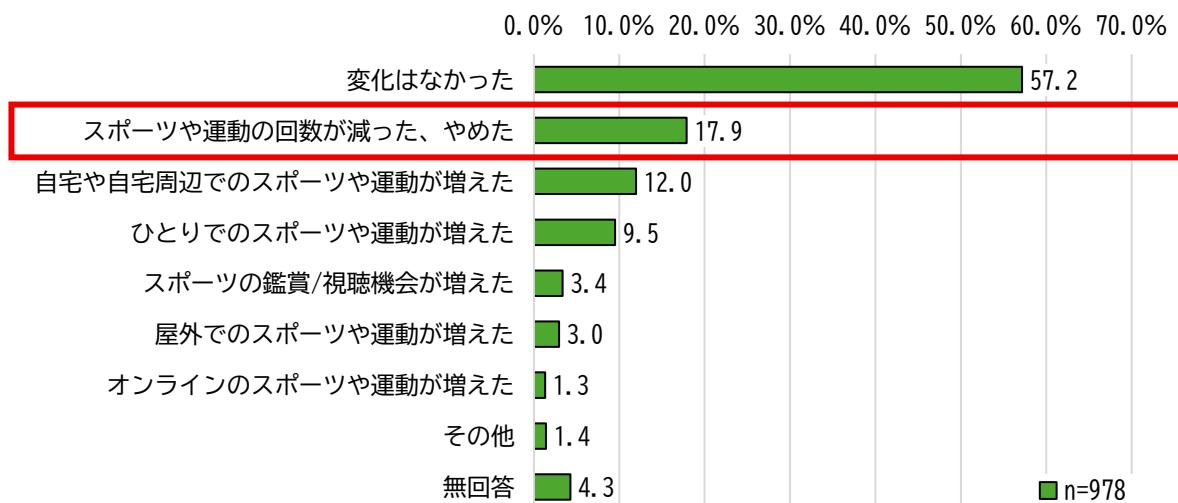


(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

⑤ 新型コロナウイルスによるスポーツや運動習慣への影響

新型コロナウイルスによるスポーツや運動習慣への影響について、「変化はなかった」が57.2%と最も多い、次いで「スポーツや運動の回数が減った、やめた」が17.9%、「自宅や自宅周辺でのスポーツや運動が増えた」が12.0%となっています。

【図表3－9 新型コロナウイルスによるスポーツや運動習慣への影響】



(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

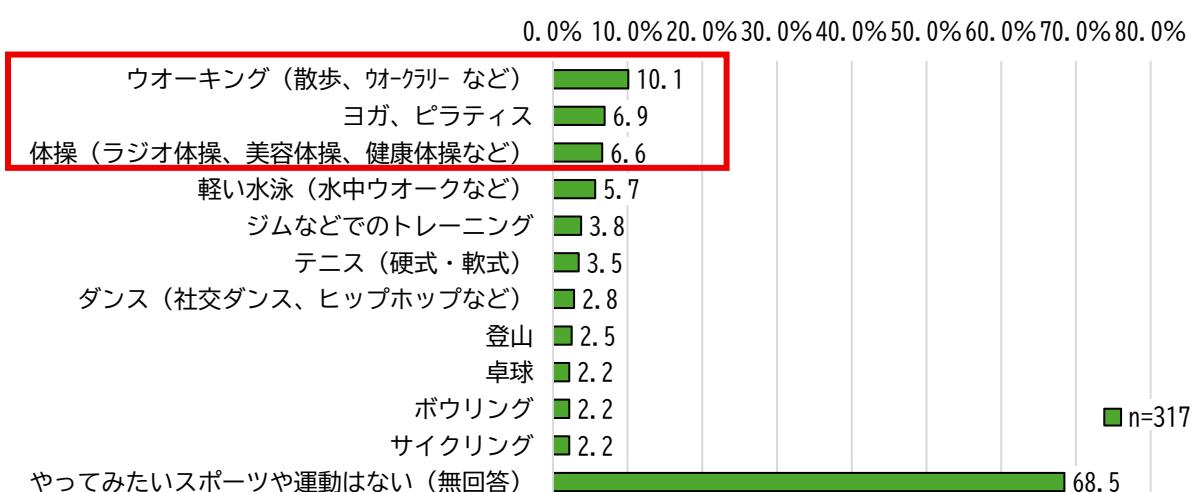
⑥ スポーツを行っていない人が今後取り組んでみたいスポーツ

週1回以上スポーツを行っていない人に、今後取り組んでみたいスポーツを尋ねると、「ウォーキング（散歩、ウォーキングなど）」、「ヨガ、ピラティス」、「体操（ラジオ体操、美容体操、健康体操など）」が上位回答となっています。

一方、「やってみたいスポーツや運動はない（無回答）」が68.5%となっています。

【図表3－10 週1回以上スポーツを行っていない人の今後取り組んでみたいスポーツ

(上位回答抜粋)



(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

(2) スポーツを「みる」について

〈特徴〉

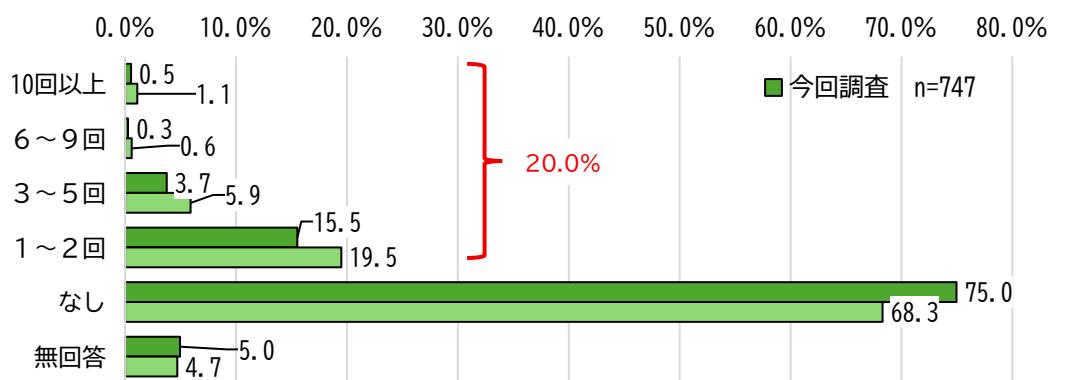
- ・さわやかアリーナまたはエコパでこの1年に観戦した割合は2割で、コロナ禍の前回調査(27.1%)を下回っている。
- ・さわやかアリーナやエコパでの開催を期待するイベントは「プロスポーツの試合や国際大会」の割合が最も高い。
- ・スポーツ観戦方法のうち、メディア利用が6割と高いが、現地観戦者も一定層(16.3%)ある。

① この1年のかわやかアリーナまたはエコパでの競技スポーツ観戦回数

スポーツ観戦をした人に、この1年のかわやかアリーナまたはエコパでの競技スポーツ観戦回数を尋ねると、「なし」が75.0%と最も多くなっています。

前回調査と比較すると、かわやかアリーナ、または、エコパで観戦したことがある人(「1~2回」、「3~5回」、「6~9回」、「10回以上」の合計)は7ポイント以上減少しています。(今回調査:20.0%、前回調査:27.1%)

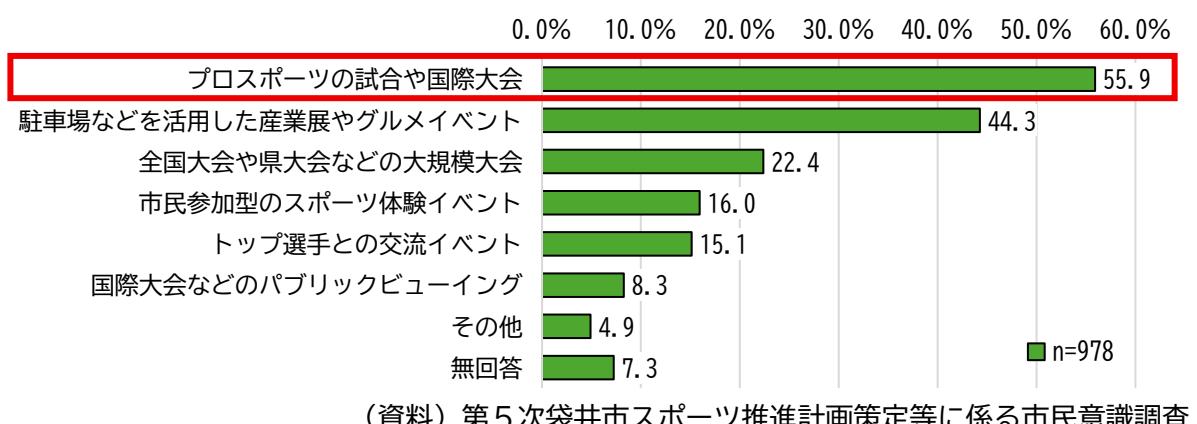
【図表3-11 かわやかアリーナまたはエコパでの競技スポーツ観戦回数】



② かわやかアリーナやエコパでの開催を期待するイベント

かわやかアリーナやエコパでの開催を期待するイベントについて、「プロスポーツの試合や国際大会」の割合が55.9%と最も高く、次いで「駐車場などを活用した産業展やグルメイベント」の割合が44.3%、「全国大会や県大会などの大規模大会」の割合が22.4%となっています。

【図表3-12 かわやかアリーナやエコパでの開催を期待するイベント】

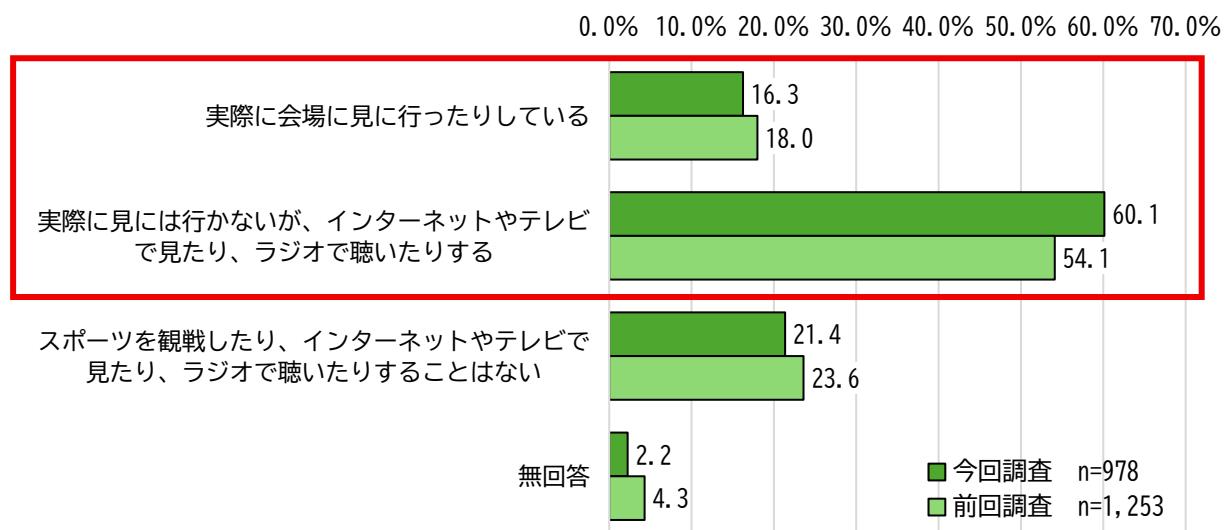


③ スポーツの観戦方法

スポーツの観戦方法について、「実際に会場に見に行ったりしている」が 16.3%、「実際に見には行かないが、インターネットやテレビで見たり、ラジオで聴いたりする」が 60.1%、「スポーツを観戦したり、インターネットやテレビで見たり、ラジオで聴いたりすることはない」が 21.4%となっています。

前回調査と比較すると、「実際に見には行かないが、インターネットやテレビで見たり、ラジオで聴いたりする」が 6.0 ポイント増加しています。

【図表3-13 スポーツの観戦方法】



(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

(3) スポーツを「ささえる」に関して

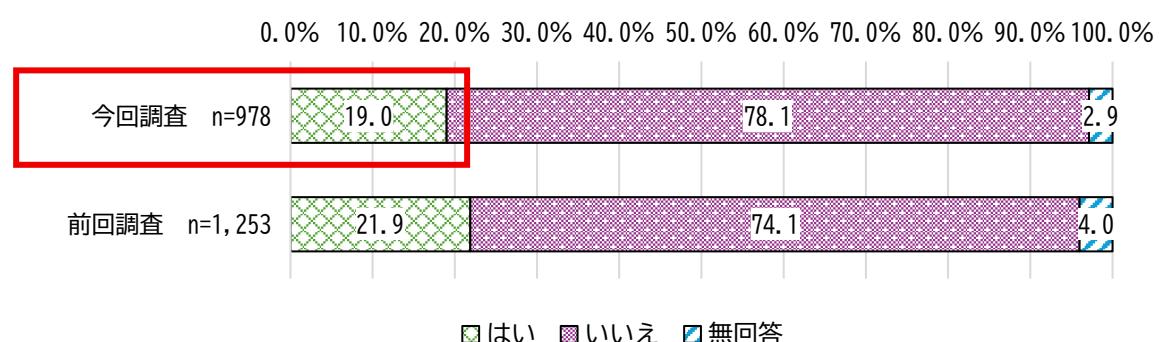
〈特徴〉

- ・スポーツ大会やイベントへボランティアとして参加したことのある割合は前回調査から低下している。
- ・今後スポーツに対して何らかの貢献をしたいと思っている人は 24.4%。
- ・スポーツや運動の活性化のために必要な行政の取組は「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が最も多く回答されている。

① スポーツ大会やイベントへのボランティア参加経験

スポーツ大会やイベントへボランティアとして参加したことがあるかについて、「はい」が 19.0%、「いいえ」が 78.1% となっています。
前回調査と比較すると、「はい」の割合が減少しています。

【図表3-14 スポーツ大会やイベントへボランティアとして参加したことがあるか】



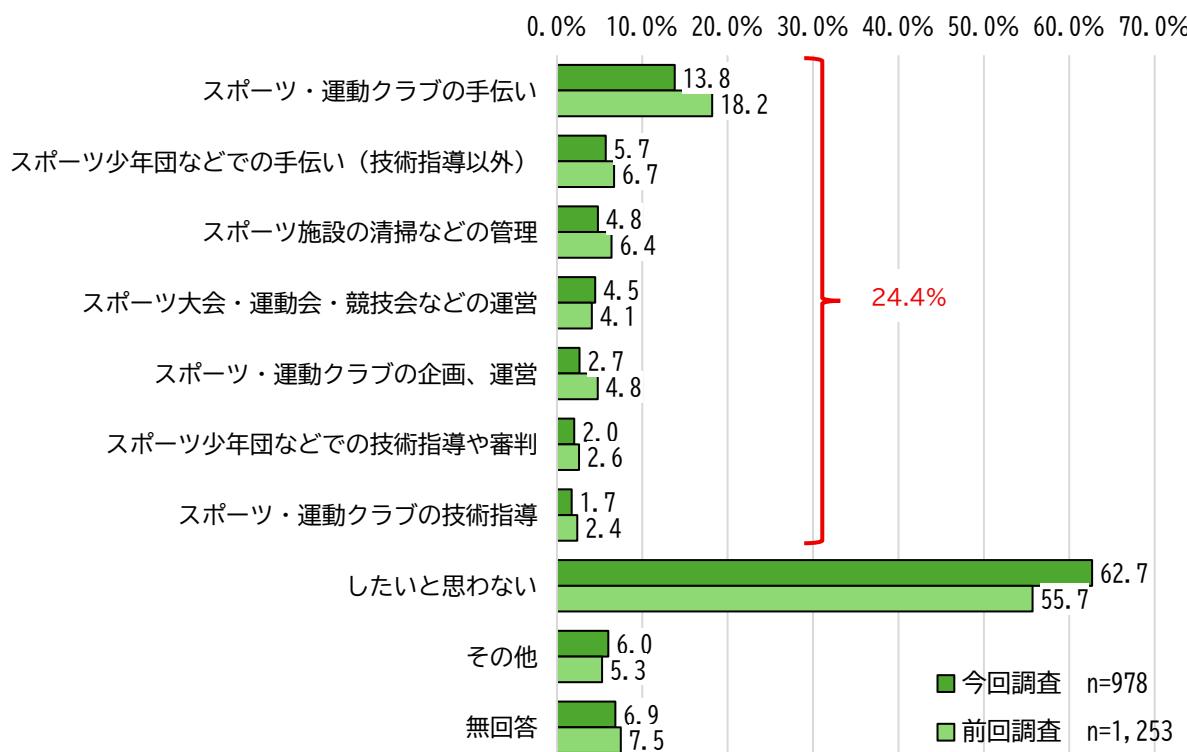
(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

② スポーツや運動に対する係わり合いや貢献

スポーツや運動に対する係わり合いや貢献について、今後スポーツや運動を支える活動を“したいと思っている”人の割合（100%から「したいと思わない」「その他」「無回答」を除いた割合）は、24.4%となっています。

前回調査と比較すると、今後スポーツや運動を支える活動を“したいと思っている”人は7ポイント以上減少しています。（今回調査：24.4%、前回調査：31.5%）

【図表3-15 スポーツや運動に対する係わり合いや貢献】

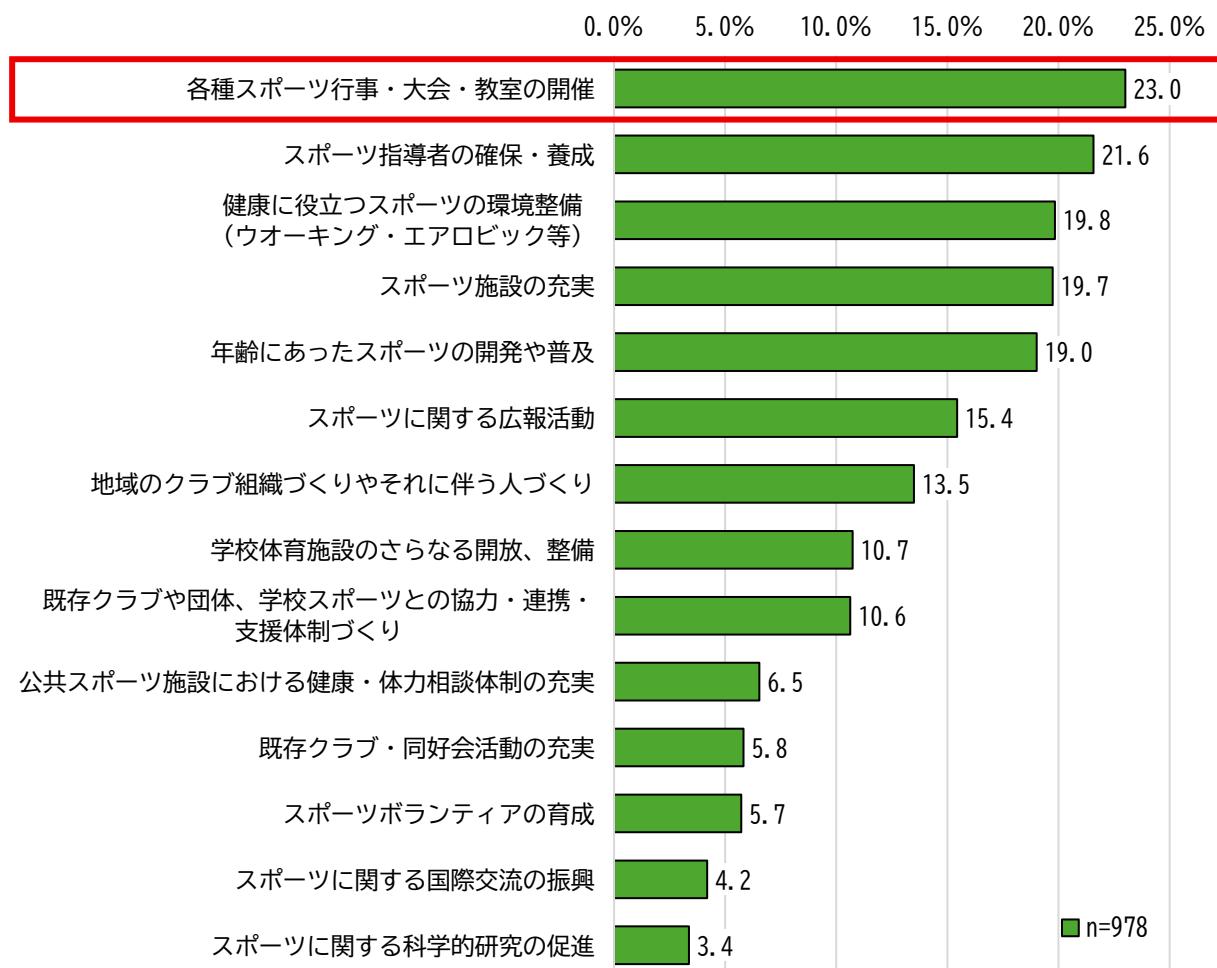


（資料）第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

③ スポーツや運動の活性化のために必要な行政の取組

スポーツや運動の活性化のために必要な行政の取組について、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が23.0%と最も高く、次いで「スポーツ指導者の確保・養成」が21.6%、「健康に役立つスポーツの環境整備（ウォーキング・エアロビック等）」が19.8%となっています。

【図表3-16 スポーツや運動の活性化のために必要な行政の取組】



（資料）第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

(4) スポーツによる社会の活性化について

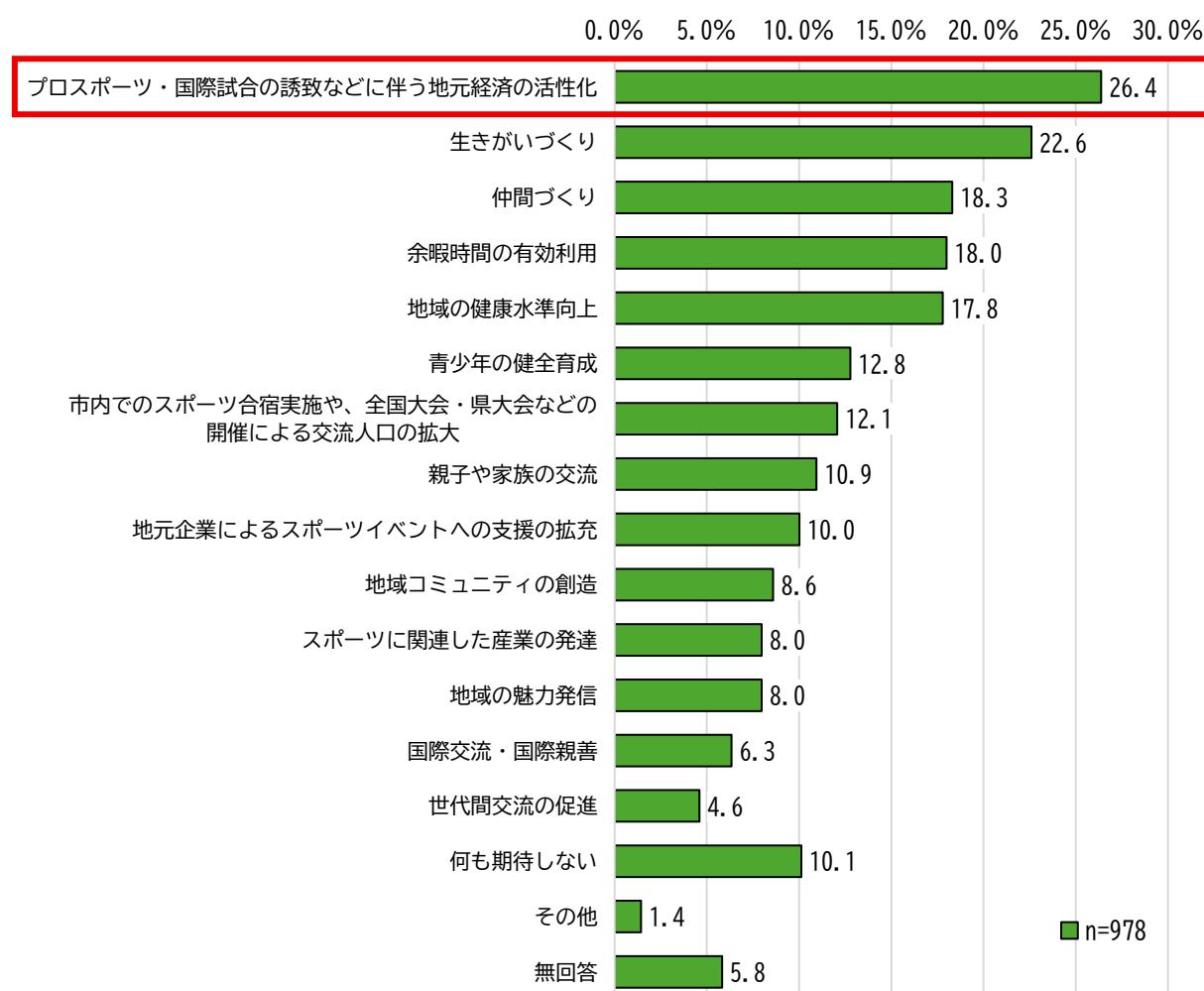
〈特徴〉

- ・スポーツに期待する社会への効果は、「プロスポーツ・国際試合の誘致などに伴う地元経済の活性化」が多い。
- ・スポーツに期待する効果・役割を年齢別にみると、若年層では「仲間づくり」が比較的多く、また、「30歳代」は「親子や家族の交流」が他の年齢に比べて最も多く回答されている。60歳代以上では「生きがいづくり」が他の年齢に比べて多く回答されている

① スポーツに期待する効果・役割

スポーツに期待する効果・役割について、「プロスポーツ・国際試合の誘致などに伴う地元経済の活性化」が 26.4%と最も多く、次いで「生きがいづくり」が 22.6%、「仲間づくり」が 18.3%となっています。

【図表3-17 スポーツに期待する効果・役割】



(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

② 年齢別のスポーツに期待する効果・役割

スポーツに期待する効果・役割を年齢別にみると、特に「30歳代」は「親子や家族の交流」が全体よりも10ポイント以上高くなっています。

【図表3-18 年齢別スポーツに期待する効果・役割】

	回答数（件）	プロスポーツ・国際試合の誘致などに伴う地元経済の活性化	市内でのスポーツ合宿実施や、全国大会・県大会などの開催による交流人口の拡大	地元企業によるスポーツイベントへの支援の拡充	スポーツに関連した産業の発達	国際交流・国際親善
20歳代以下	80	31.3	11.3	8.8	8.8	6.3
30歳代	128	26.6	10.9	12.5	14.8	3.9
40歳代	143	32.2	16.8	16.1	7.0	4.9
50歳代	170	31.2	13.5	9.4	12.4	7.6
60歳代	188	28.7	10.6	8.5	4.3	6.9
70歳以上	261	16.9	10.3	7.3	4.6	6.9
地域の魅力発信		地域コミュニティの創造	仲間づくり	青少年の健全育成	親子や家族の交流	生きがいづくり
20歳代以下	10.0	3.8	26.3	5.0	5.0	15.0
30歳代	3.9	7.8	23.4	14.1	31.3	21.1
40歳代	5.6	9.8	15.4	11.9	17.5	20.3
50歳代	8.8	4.7	17.1	8.8	5.9	23.5
60歳代	7.4	10.1	13.8	14.4	6.4	25.0
70歳以上	10.7	11.5	19.2	16.5	6.1	24.9
余暇時間の有効利用		地域の健康水準向上	世代間交流の促進	何も期待しない	その他	無回答
20歳代以下	22.5	13.8	2.5	16.3	1.3	0.0
30歳代	14.8	14.8	3.1	10.2	0.8	0.0
40歳代	23.1	14.0	2.8	11.2	0.7	0.0
50歳代	14.7	16.5	4.7	11.8	1.8	3.5
60歳代	25.5	18.1	3.2	8.0	0.5	6.4
70歳以上	12.3	23.8	8.0	8.0	2.7	13.8

(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

(5) 競技スポーツに関して

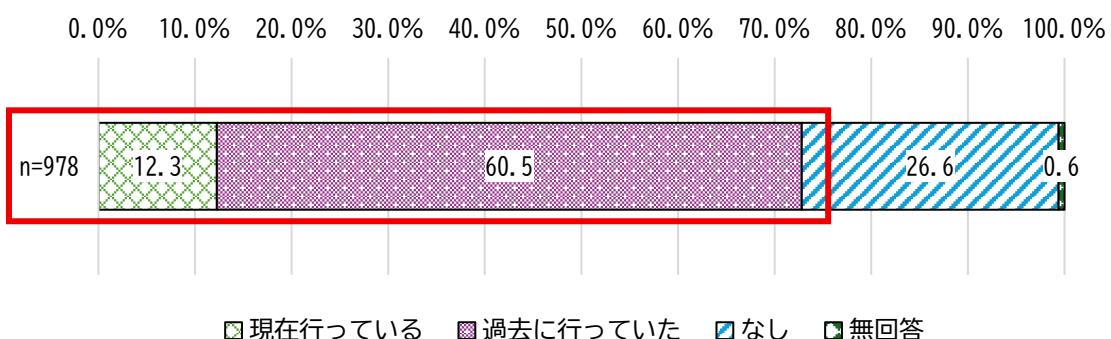
〈特徴〉

- ・競技スポーツの経験者（過去に行っていた人も含む）は全体の7割以上。
- ・現在も競技スポーツを行っている人は、日常生活で充実感を感じている人が9割と多い。
- ・袋井市の競技力向上のために必要な手法は、「施設の充実や環境の整備を図る」や「指導者の資質向上を図る」が上位回答となっている。
- ・選手や団体が大会で活躍することに関心は、64.7%と高い。

① 競技スポーツの経験

競技スポーツの経験について、「現在行っている」が12.3%、「過去に行っていた」が60.5%、「なし」が26.6%となっています。

【図表3-19 競技スポーツの経験】

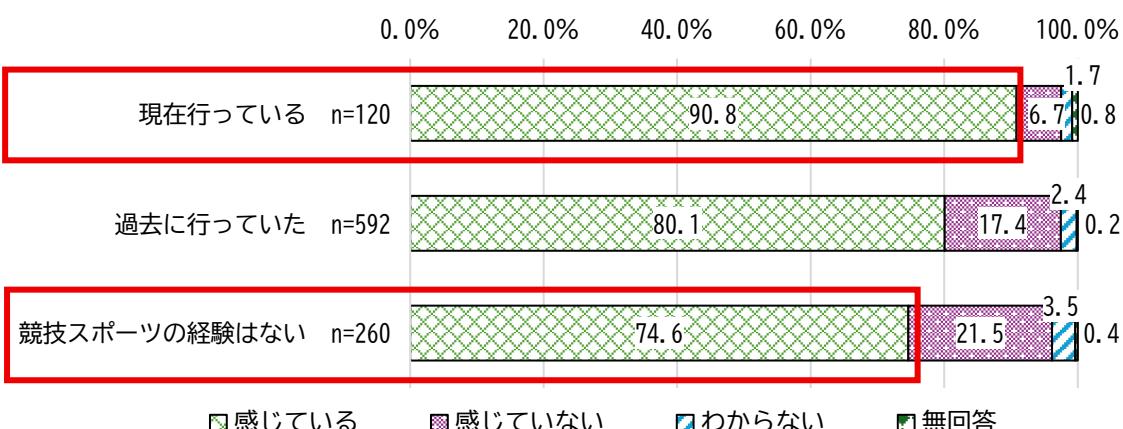


(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

② 競技スポーツ経験別の日常生活における充実感

競技スポーツ経験別に日常生活における充実感をみると、競技スポーツを「現在行っている」人は、日常生活における充実感を「感じている」が90.8%となっており、「競技スポーツの経験はない」人（74.6%）に比べて16.2ポイント高くなっています。

【図表3-20 競技スポーツ経験別の日常生活における充実感】

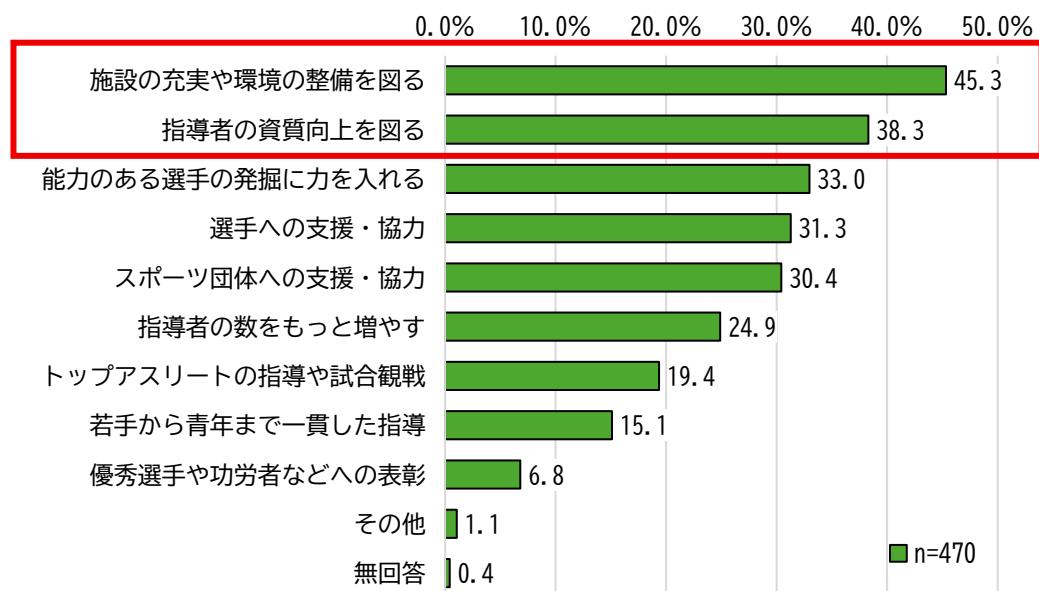


(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

③ 袋井市の競技力向上のために必要な手法

袋井市の競技力向上のために必要な手法について、「施設の充実や環境の整備を図る」が 45.3% と最も高く、次いで「指導者の資質向上を図る」が 38.3%、「能力のある選手の発掘に力を入れる」が 33.0% となっています。

【図表 3-21 袋井市の競技力向上のために必要な手法】



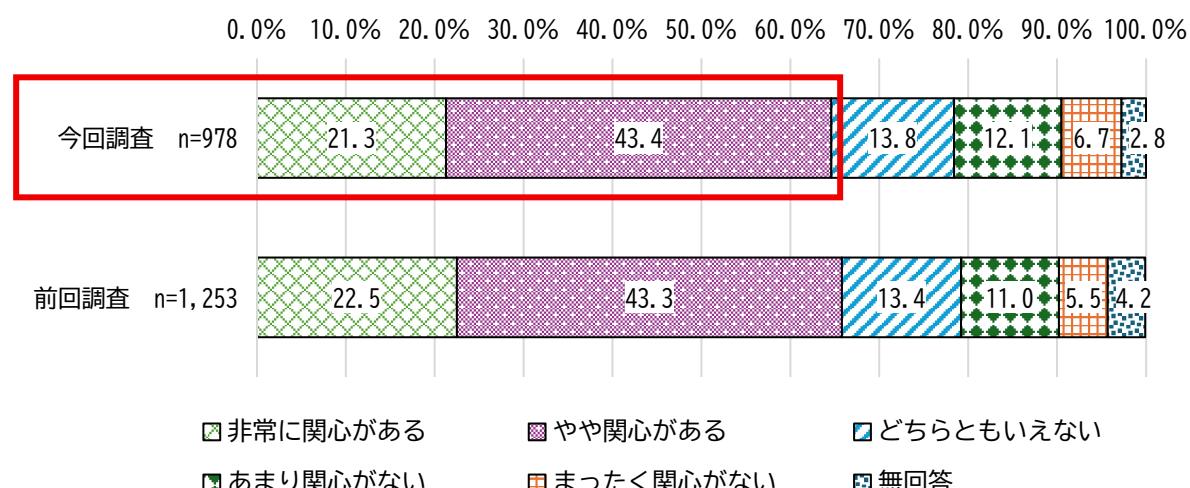
(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

④ 袋井市内の選手や団体が大会で活躍することへの関心

袋井市内の選手や団体が大会で活躍することへの関心について、“関心がある”（「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計）が 64.7%、“関心がない”（「あまり関心がない」と「まったく関心がない」の合計）が 18.8% となっています。

前回調査と比較すると、今回調査と前回調査では大きな差はみられません。

【図表 3-22 袋井市内の選手や団体が大会で活躍することへの関心】



(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

(6) パラスポーツについて

〈特徴〉

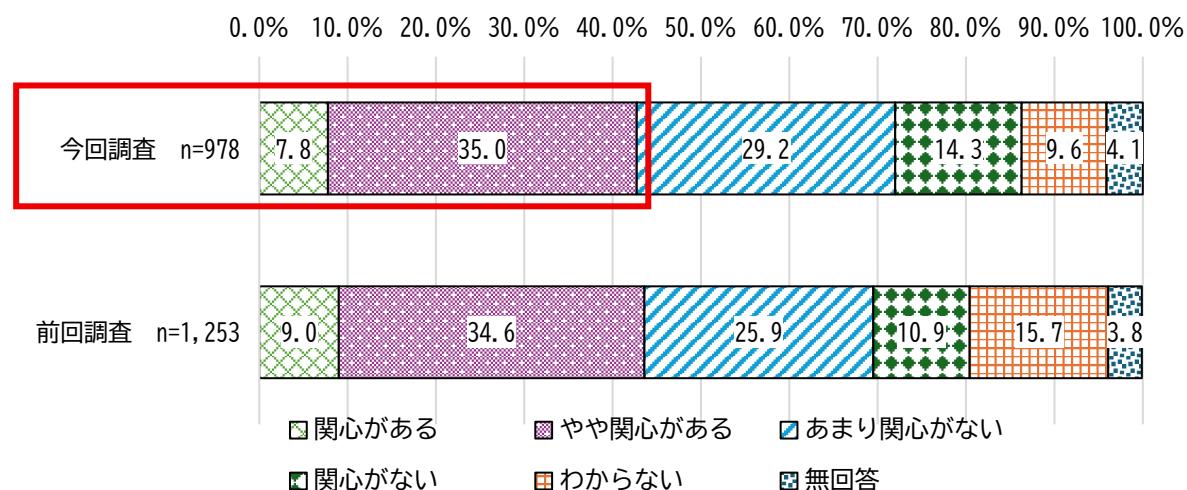
- ・パラスポーツに関心のある人は4割。パラスポーツを体験したことがない人が9割。
- ・パラスポーツについて、実際に観戦または見たことがある人は1.1%。

① パラスポーツへの関心

パラスポーツへの関心について、“関心がある”（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）が42.8%、“関心がない”（「あまり関心がない」と「関心がない」の合計）が43.5%となっています。

前回調査と比較すると、“関心がない”人は6ポイント以上増加しています。（今回調査：43.6%、前回調査：36.8%）

【図表3-23 パラスポーツへの関心】



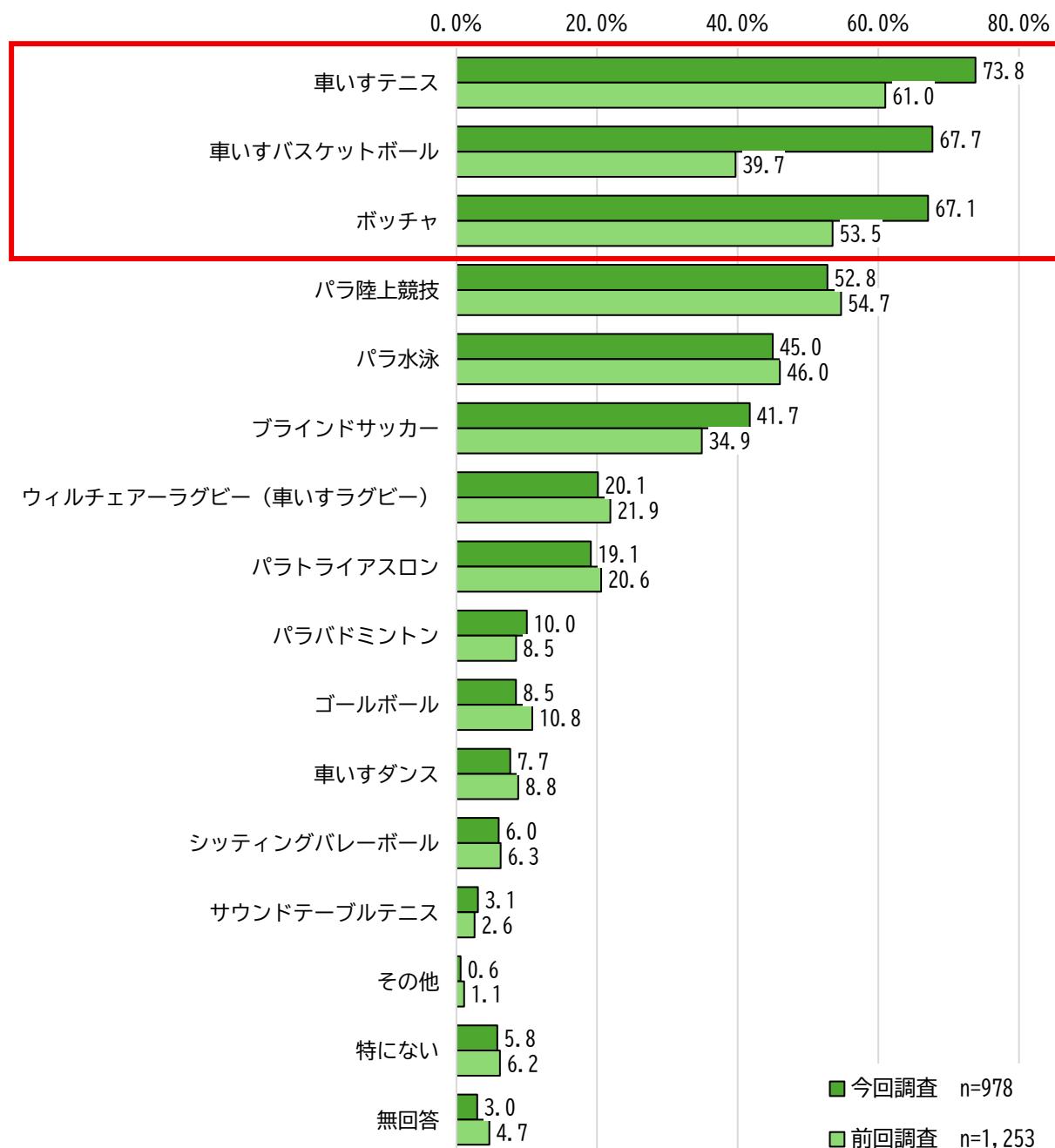
（資料）第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

② 知っているまたは聞いたことがあるパラスポーツ競技

知っているまたは聞いたことがあるパラスポーツ競技について、「車いすテニス」が73.8%と最も高く、次いで「車いすバスケットボール」が67.7%、「ボッチャ」が67.1%となっています。

前回調査と比較すると、「車いすテニス」と「ボッチャ」が10ポイント以上増加しています。

【図表3-24 知っているまたは聞いたことがあるパラスポーツ競技】

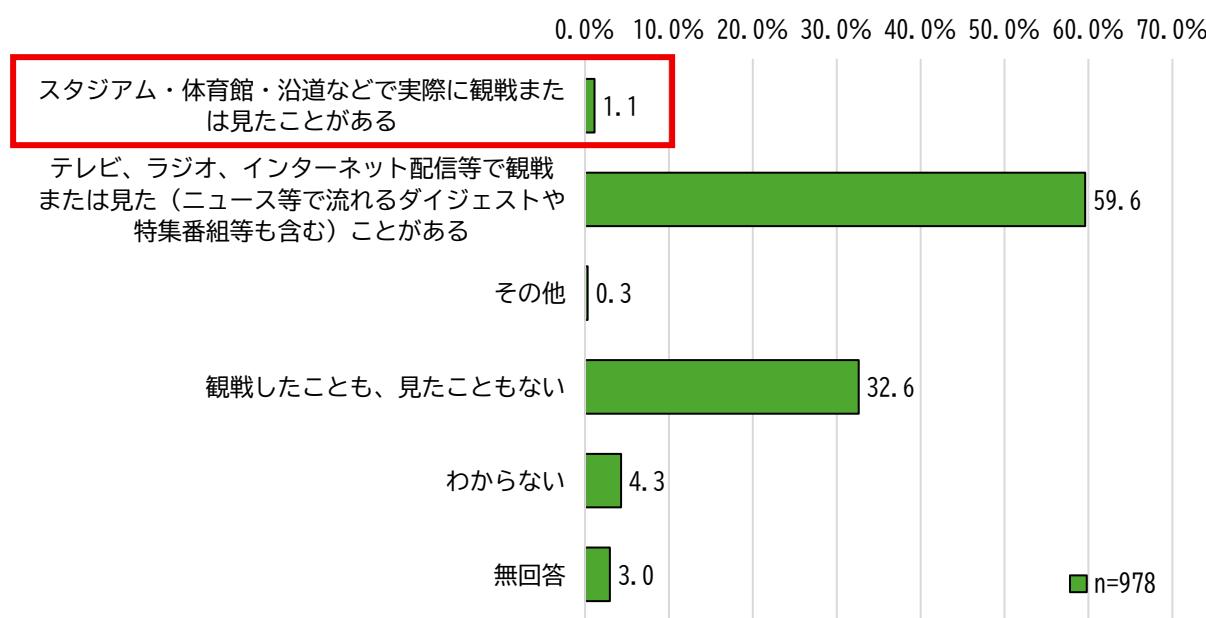


(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

③ パラスポーツやパラリンピック協議種目の観戦経験

パラスポーツやパラリンピック競技種目の観戦経験について、「スタジアム・体育館・沿道などで実際に観戦または見たことがある（以下、「現地観戦」）」が1.1%、「テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦または見た（ニュース等で流れるダイジェストや特集番組等も含む）ことがある」が59.6%、「観戦したことも、見たこともない」が32.6%となっています。

【図表3-25 パラスポーツやパラリンピック競技種目の観戦経験】



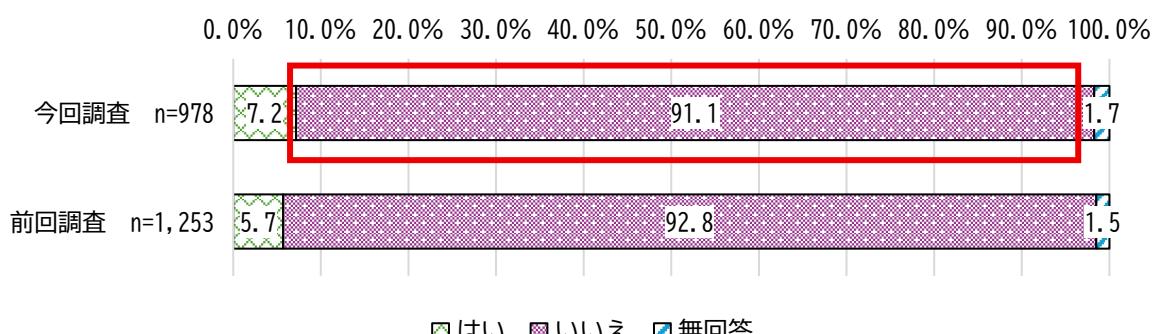
（資料）第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

④ パラスポーツの体験・経験の有無

パラスポーツを体験・経験したことがあるかについて、「はい」が7.2%、「いいえ」が91.1%となっています。

前回調査と比較すると、今回調査と前回調査では大きな差はみられません。

【図表3-26 パラスポーツの体験・経験の有無】



（資料）第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

(7) 「誰もがアクセスできる」スポーツ環境の整備に関して

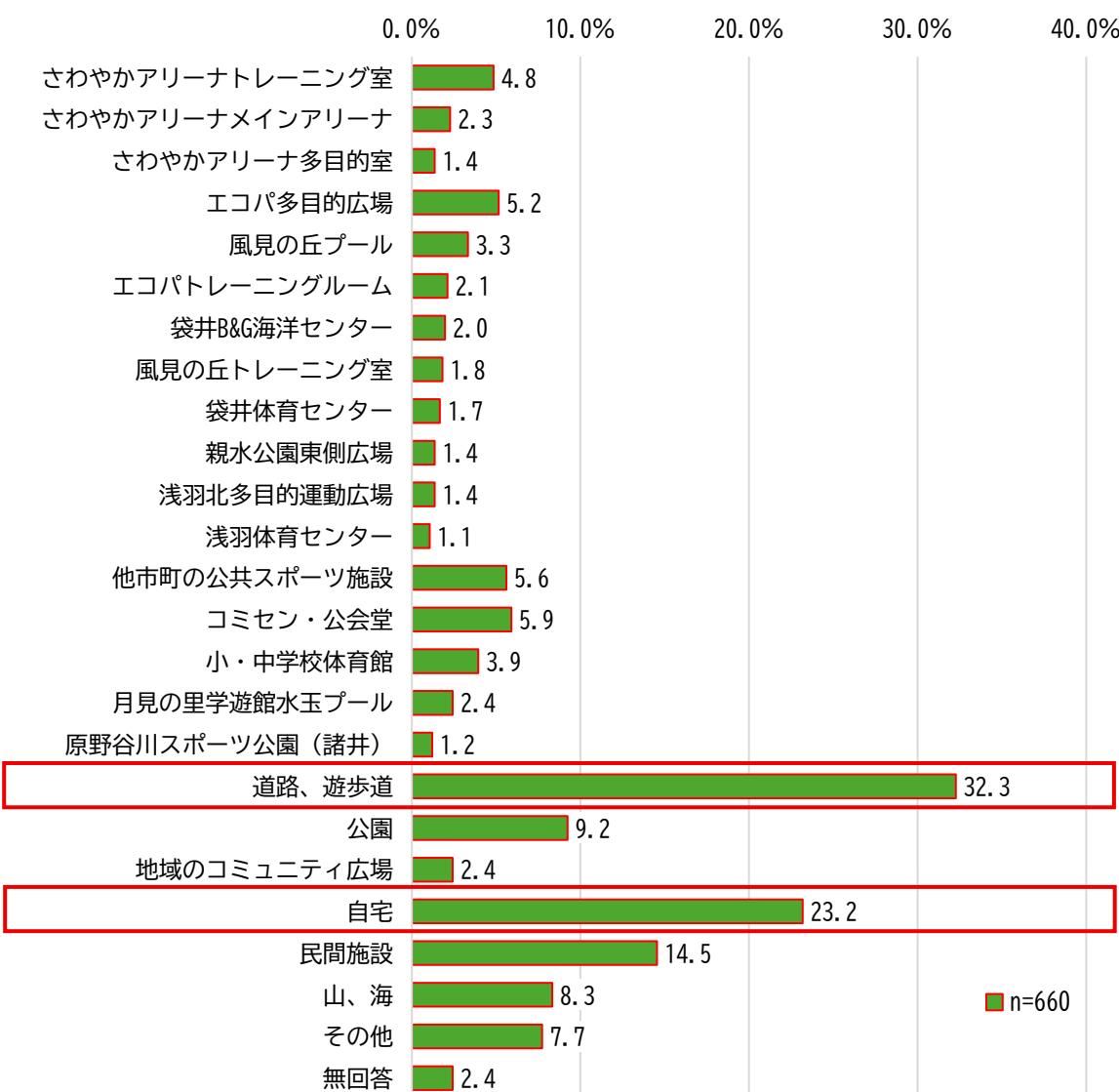
〈特徴〉

- ・スポーツをした場所は、「道路、遊歩道」が3割、「自宅」が2割と、身近な場所が多い。
- ・市内の公共スポーツ施設は、数も質も充実していると思う人が3割と最も多い。
- ・情報の入手手段として「市発行の広報誌」の希望が高い。若い年代では「インターネット・SNS」の希望も高い。

① スポーツや運動を行った場所

1年間に何らかのスポーツや運動をしたと答えた人に、スポーツや運動を行った場所を尋ねると、「道路、遊歩道」が32.3%と最も高く、次いで「自宅」が23.2%、「民間施設」が14.5%となっています。

【図表3-27 スポーツや運動を行った場所】



※回答割合が1%以上だったもののみを表示している

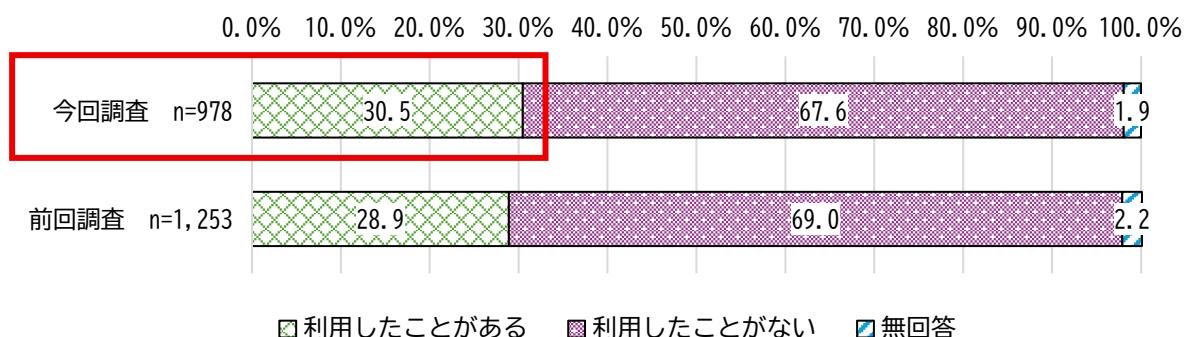
(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

② 公共スポーツ施設の利用

公共スポーツ施設の利用について、「利用したことがある」が 30.5%、「利用したことがない」が 67.6% となっています。

前回調査と比較すると、今回調査と前回調査では大きな差はみられません。

【図表3-28 公共スポーツ施設の利用】



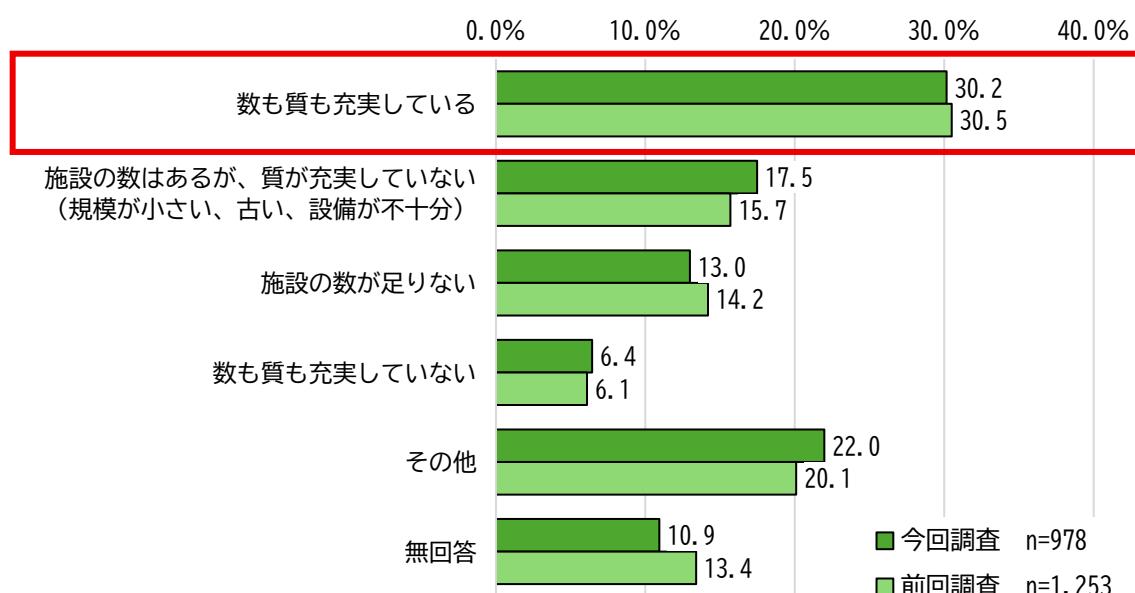
(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

③ 公共スポーツ施設の充実度

公共スポーツ施設の充実度について、「数も質も充実している」が 30.2% と最も高く、次いで「その他」が 22.0%、「施設の数はあるが、質が充実していない（規模が小さい、古い、設備が不十分）」が 17.5% となっています。

前回調査と比較すると、今回調査と前回調査では大きな差はみられません。

【図表3-29 公共スポーツ施設の充実度】

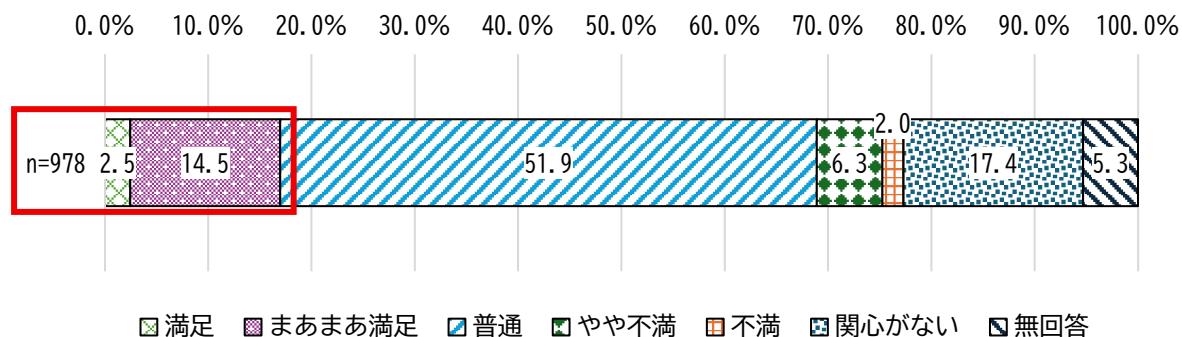


(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

④ 袋井市からのスポーツ関連の情報提供の満足度

袋井市からのスポーツ関連の情報提供の満足度について、「満足」（「満足」と「まあまあ満足」の合計）が17.0%、「不満」（「やや不満」と「不満」の合計）が8.3%となっています。

【図表3-30 袋井市からのスポーツ関連の情報提供の満足度】

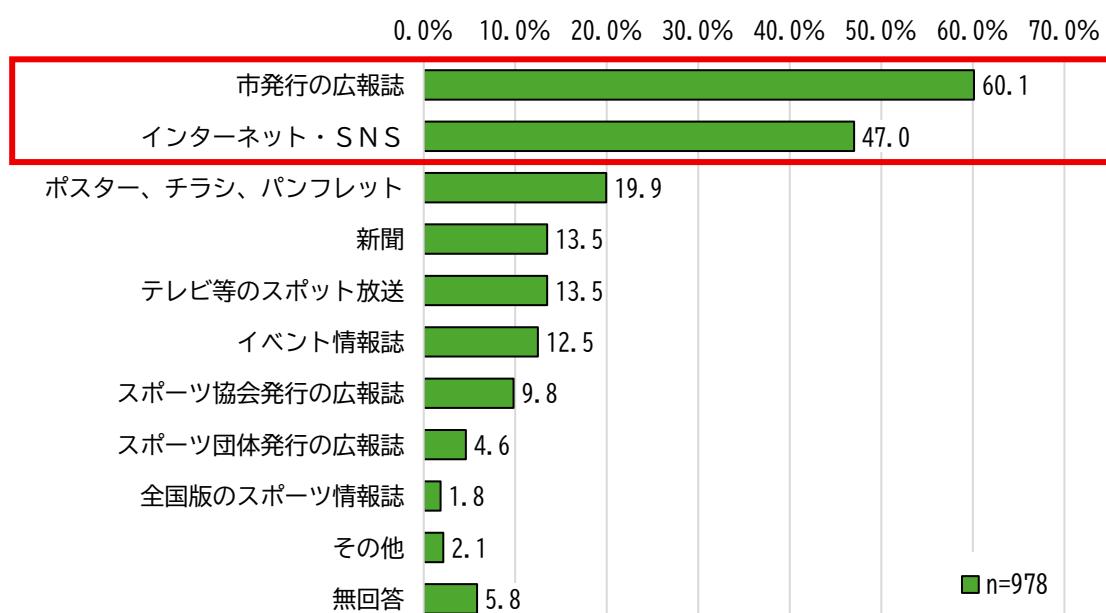


（資料）第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

⑤ 望ましいスポーツ情報の発信方法

望ましい袋井市からのスポーツ情報の発信方法について、「市発行の広報誌」が60.1%と最も多く、次いで「インターネット・SNS」が47.0%、「ポスター、チラシ、パンフレット」が19.9%となっています。

【図表3-31 望ましいスポーツ情報の発信方法】



（資料）第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

⑥ 年齢別望ましいスポーツ情報の発信方法

望ましい袋井市からのスポーツ情報の発信方法を年齢別にみると、特に 50 歳代以上では「市発行の広報誌」、40 歳代以下では「インターネット・SNS」が最も多くなっています。

【図表3-32 年齢別望ましいスポーツ情報の発信方法】

	回答数（件）	市発行の広報誌	スポーツ協会発行の広報誌	スポーツ団体発行の広報誌	新聞	ポスター、チラシ、パンフレット
20歳代以下	80	35.0	2.5	1.3	8.8	18.8
30歳代	128	53.1	7.8	5.5	7.8	22.7
40歳代	143	59.4	6.3	4.2	9.1	17.5
50歳代	170	61.8	10.6	5.3	18.8	23.5
60歳代	188	67.0	11.2	2.7	14.9	19.7
70歳以上	261	66.7	13.8	6.1	16.1	18.4
	イベント情報誌	インターネット・SNS	テレビ等のスポーツ放送	全国版のスポーツ情報誌	その他	無回答
20歳代以下	11.3	71.3	21.3	3.8	0.0	0.0
30歳代	8.6	77.3	16.4	2.3	3.1	1.6
40歳代	9.8	65.7	12.6	0.7	4.2	3.5
50歳代	18.2	53.5	15.3	4.1	1.2	2.4
60歳代	12.8	37.2	15.4	2.1	1.1	6.4
70歳以上	12.6	18.4	7.7	0.0	2.7	11.5

(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

3 2024年度（令和6年度）全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果

（1）子どもの体力状況について

ア 小学5年生男子

子どもの体力状況について、小学校5年生男子では「長座体前屈」、「50m走」、「立ち幅跳び」の結果が全国、静岡県をともに上回っています。

【図表3-33-1 体力・運動能力・運動習慣等調査結果（小学校5年生男子）】

区分		種目	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅 とび (cm)	ソフト ボール 投げ (m)
男子 (小 学 校 5 年 生)	袋井市		15.14	18.24	34.05	40.11	45.26	9.44	150.97	19.22
	静岡県		15.68	18.45	32.23	40.52	47.05	9.58	150.35	19.69
	全国		16.01	19.19	33.79	40.66	46.9	9.50	150.42	20.75
	比較	県	●	●	○	●	●	○	○	●
		全国	●	●	○	●	●	○	○	●

※○は市の記録が上回っている。●は市の記録が下回っている。△は同記録。

イ 小学5年生女子

子どもの体力状況について、小学校5年生女子では「長座体前屈」、「反復横とび」、「50m走」、「立ち幅跳び」の結果が全国、静岡県をともに上回っています。

【図表3-33-2 体力・運動能力・運動習慣等調査結果（小学校5年生女子）】

区分		種目	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅 とび (cm)	ソフト ボール 投げ (m)
女子 (小 学 校 5 年 生)	袋井市		14.99	17.61	38.86	39.05	35.31	9.71	145.65	13.08
	静岡県		15.61	17.54	36.96	38.97	37.97	9.79	144.48	13.30
	全国		15.77	18.16	38.19	38.7	36.59	9.77	143.13	13.15
	比較	県	●	○	○	○	●	○	○	●
		全国	●	●	○	○	●	○	○	●

※○は市の記録が上回っている。●は市の記録が下回っている。△は同記録。

ウ 中学2年生男子

子どもの体力状況について、中学校2年生男子では「握力」、「反復横とび」の結果が全国、静岡県をともに上回っています。

【図表3-33-3 体力・運動能力・運動習慣等調査結果（中学校2年生男子）】

区分		種目	握力 (kg)	上体起 こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復横 とび (点)	持久走 (秒)	20mシ ヤトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅 とび (cm)	ハンド ボール 投げ (m)
男子 (中 学校 2年 生)	袋井市		30.06	25.10	44.23	53.30	403.45	45.50	8.04	199.09	19.87
	静岡県		28.84	26.05	44.98	51.82	402.97	78.08	7.94	199.15	20.52
	全国		28.95	25.94	44.47	51.51	410.69	78.98	7.99	197.18	20.57
	比較	県	○	●	●	○	●	●	●	●	●
		全国	○	●	●	○	○	●	●	○	●

※○は市の記録が上回っている。●は市の記録が下回っている。△は同記録。

エ 中学2年生女子

子どもの体力状況について、中学校2年生女子では「握力」、「長座体前屈」、「反復横とび」、「持久走」、「立ち幅とび」の結果が全国、静岡県をともに上回っています。

【図表3-33-4 体力・運動能力・運動習慣等調査結果（中学校2年生女子）】

区分		種目	握力 (kg)	上体起 こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復横 とび (点)	持久走 (秒)	20mシ ヤトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅 とび (cm)	ハンド ボール 投げ (m)
女子 (中 学校 2年 生)	袋井市		24.01	20.50	47.14	47.14	299.16	—	8.96	171.15	12.06
	静岡県		23.15	21.36	47.05	45.93	305.04	50.71	8.90	169.76	12.77
	全国		23.18	21.56	46.47	45.65	309.02	50.67	8.96	166.32	12.40
	比較	県	○	●	○	○	○	—	●	○	●
		全国	○	●	○	○	○	—	△	○	●

※○は市の記録が上回っている。●は市の記録が下回っている。△は同記録。

(2) こどもの運動やスポーツへの興味・関心について

【参考とするアンケート項目】

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。

ア 小学5年生男子

こどもの運動やスポーツへの興味・関心について、小学校5年生男子では“好き（「好き」 + 「やや好き」の合計）”の割合が92.7%と、全国、静岡県に比べてやや低くなっています。

【図表3-34-1 運動やスポーツへの興味・関心（小学校5年生男子）】

	袋井市	静岡県	全国
好き	71.1%	72.6%	73.0%
やや好き	21.6%	21.4%	20.2%
やや嫌い	5.0%	4.2%	4.5%
嫌い	2.2%	1.9%	2.2%

イ 小学5年生女子

こどもの運動やスポーツへの興味・関心について、小学校5年生女子では“好き（「好き」 + 「やや好き」の合計）”の割合が85.3%と、全国、静岡県に比べてやや低くなっています。

【図表3-34-2 運動やスポーツへの興味・関心（小学校5年生女子）】

	袋井市	静岡県	全国
好き	54.4%	54.7%	54.8%
やや好き	30.9%	31.9%	31.4%
やや嫌い	9.6%	9.4%	9.5%
嫌い	5.1%	4.0%	4.3%

ウ 中学2年生男子

子どもの運動やスポーツへの興味・関心について、中学校2年生男子では“好き（「好き」 + 「やや好き」の合計）”の割合が92.4%と、全国、静岡県に比べて高くなっています。

【図表3-34-3 運動やスポーツへの興味・関心（中学校2年生男子）】

	袋井市	静岡県	全国
好き	67.8%	66.3%	65.5%
やや好き	24.6%	24.7%	25.1%
やや嫌い	5.6%	6.2%	6.3%
嫌い	2.0%	2.8%	3.2%

エ 中学2年生女子

子どもの運動やスポーツへの興味・関心について、中学校2年生女子では“好き（「好き」 + 「やや好き」の合計）”の割合が92.4%と、全国、静岡県に比べて高くなっています。

【図表3-34-4 運動やスポーツへの興味・関心（中学校2年生女子）】

	袋井市	静岡県	全国
好き	49.4%	41.1%	43.2%
やや好き	33.7%	34.7%	33.7%
やや嫌い	12.2%	16.2%	15.2%
嫌い	4.7%	8.0%	8.0%

4 第4次計画の検証・評価と現状

第4次袋井市スポーツ推進計画では、「する・観る・支える」の3つを視点に、(1)多様性に応じたスポーツ活動の推進、(2)誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の提供、(3)スポーツ活動を支える環境の充実、(4)アスリートの育成とトップスポーツに触れる機会の創出、(5)スポーツを通じた地域の活性化の5つを基本目標として掲げ、各種施策を展開してきました。

各目標に対する検証・評価結果と現状は以下のとおりです。

【図表3-35 評価基準】

- ◎・・・目標値を達成した
- ・・・目標値を達成していないが、基準値と比較して向上した
- △・・・基準値と同等または若干低下した
- ×・・・基準値と比較し低下

基本目標1 多様性に応じたスポーツ活動の推進

〈数値目標の進捗〉

- 成人のスポーツ実施率（週1回以上）、子育て世代（30～40歳代）のスポーツ実施率（週1回以上）、障がい者スポーツ大会参加者数は、基準時から低下傾向にあります。
- 新体力テストで全国の平均を上回る種目の割合、「運動が好き」と答える児童生徒の割合は、基準時から維持傾向にあります。

【図表3-36 基本目標1 多様性に応じたスポーツ活動の推進の達成状況】

評価指標	基準値	現状値				目標値 (R7)	評価
		R3	R4	R5	R6		
成人のスポーツ実施率（週1回以上）	57.8% (令和2年)	53.5%	51.6%	49.5%	46.5%	65.0%	×
子育て世代（30～40歳代）のスポーツ実施率（週1回以上）	50.9% (令和2年)	38.9%	36.6%	35.0%	28.8%	58.0%	×
新体力テストで全国の平均を上回る種目の割合（小5・中2）	37.5% 12/32 種目	50.0% 16/32 種目	50.0% 16/32 種目	37.5% 12/31 種目	50.0% 16/32 種目	68.8% 22/32 種目	○
「運動が好き」と答える児童生徒の割合（小5・中2）	86.7%	84.0%	84.5%	87.1%	88.4%	92.0%	△
障がい者スポーツ大会参加者数	53人	中止	26人	28人	29人	65人	×

〈取組状況〉

- 幼稚園や保育園、こども園、小学校、コミュニティセンター等への出前教室や親子スポーツ教室を実施するとともに、市ホームページ等を活用して情報発信しています。
- 子どもの体力・運動能力向上に向けて、アクティブ育児応援プログラム推進事業を実施するとともに、プロスポーツチームやトップアスリートの協力によるスポーツ教室や指導者派遣を幼稚園や保育園、こども園、小・中学校などで実施しています。
- 「#2961 ウオーク」（スマホを活用した健康づくりサービス）の機能拡充やPRにより、登録者数は年々増加傾向にあり、働く世代の健康づくりの意識醸成に貢献しています。

基本目標2 誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の提供

〈数値目標の進捗〉

- 袋井クラウンメロンマラソンの参加者数、ウォーキングキャラバンの参加者数、市内のスポーツ関連イベント等が新聞・テレビなどで取り上げられた回数は、基準時より減少傾向にあります。コロナ禍によるスポーツイベントの中止や規模の縮小も要因と考えられます。

【図表3-37 基本目標2 誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の提供の達成状況】

評価指標	基準値	現状値				目標値 (R7)	評価
		R3	R4	R5	R6		
袋井クラウンメロンマラソンの参加者※	6,941人	計2,466人 566人 (リモート) 1,900人 (実走)	1,701人 (実走)	2,352人 (実走)	3,107人 (実走)	7,500人	×
ウォーキングキャラバンの参加者	995人	746人	939人	952人	892人	1,100人	△
市内のスポーツ関連イベント等が新聞・テレビなどで取り上げられた回数	64回	35回	55回	61回	45回	70回	×

※R4、R5はフルマラソンが開催されなかつたため、現状値はハーフマラソン参加者数を記載。（各年度ともフルマラソンおよびハーフマラソン以外の種目参加者数も含む。）

〈取組状況〉

- 市スポーツ協会が主催する袋井クラウンメロンマラソンや地区まちづくり協議会が主催するウォーキングキャラバンの開催を支援しています。
- さわやかアリーナほか、各スポーツ施設の指定管理者により、市民ニーズに応じた各種スポーツ教室を開催しています。
- 地域のスポーツ活動を効果的に支えるため、市ホームページやメローねっとを活用した情報発信に努めています。

基本目標3 スポーツ活動を支える環境の充実

〈数値目標の進捗〉

- スポーツボランティア登録数は基準時より大幅に増加しているものの、実際に参加したことがある人の割合は低下しています。コロナ禍によるイベントの自粛により活動機会が減少したことも要因と考えられます。
- 市内運動施設の利用者数は、基準時より増加傾向にあります。ＩＣＴを活用した予約システムの導入や市・指定管理者による各種スポーツ教室の開催などが、利用者増加につながっています。

【図表3-38 基本目標3 スポーツ活動を支える環境の充実の達成状況】

評価指標	基準値	現状値				目標値 (R7)	評価
		R3	R4	R5	R6		
スポーツボランティア登録数	27人	44人	49人	49人	110人	55人	◎
スポーツの大会やイベントにボランティアとして参加したことがある割合	21.9% (令和2年)	—	—	—	19.0%	32.0%	△
市内運動施設の利用者数	551,962人	583,346人	692,561人	741,335人	775,139人	625,000人	◎

〈取組状況〉

- 市や指定管理者により、常に市民ニーズを捉えた各種教室や親子スポーツ教室を開催するとともに、施設の適切な維持・管理・運営に努めています。
- 学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を開放し、地域へのスポーツの普及と振興に努めています。
- 袋井市総合体育館「さわやかアリーナ」では、パラスポーツフェスティバルやラグビーワールドカップ2023パブリックビューイングのほか、スポーツ分野以外にも住宅フェスティバルやジムニー集会などを積極的に開催支援し、幅広い年齢層の市民に利用していただきました。
- 2022年度（令和4年度）に学校体育施設や指定管理者の管理する公共スポーツ施設においてパソコンやスマートフォンから施設予約ができるシステムを導入しました。
- スポーツ環境を維持するため、スポーツ施設3Rプロジェクトに基づく計画的な施設修繕、学校体育施設のグラウンド夜間照明のLED化を実施しました。
- スポーツ施設への感染対策用品の配布も行い、安全な環境を提供しました。

基本目標4 アスリートの育成とトップスポーツに触れる機会の創出

〈数値目標の進捗〉

- スポーツ指導者派遣回数は、ニュースポーツやエアロビックのほか、プロスポーツチームによるスポーツ教室の開催などにより、増加しています。
- 全国スポーツ大会の出場者数および、スポーツ指導者育成事業助成金交付件数は、年度によって増減があるものの、基準時より減少しています。

【図表3-39 基本目標4 アスリートの育成とトップスポーツに触れる機会の創出の達成状況】

評価指標	基準値	現状値				目標値 (R7)	評価
		R3	R4	R5	R6		
スポーツ指導者派遣回数	170件	98件	177件	190件	199件	190件	◎
全国スポーツ大会の出場者数	59件	44件	48件	60件	45件	70件	△
スポーツ指導者育成事業助成金交付件数	9件	13件	24件	11件	6件	27件	△

〈取組状況〉

- 市内小中学校や幼稚園、保育園、こども園、地区まちづくり協議会などを対象にニュースポーツやエアロビックなど、指導者派遣事業を実施しています。また、プロスポーツチームとの連携によるスポーツ教室の開催などにより、こどものスポーツへの関心や競技レベル向上を図っています。
- オリンピアンを講師とした中学生向け講座の開催や、トップアスリートとの交流により、ジュニアアスリートの育成を支援しています。
- こどもの豊かなスポーツ活動を実現するため、教育委員会と連携し、市内中学校の運動部活動に外部指導者を派遣しました。また、部活動の地域展開に向けたワーキングや協議会を開催するとともに、公共スポーツ施設の指定管理者と連携した部活動の支援、指導者育成講座を実施しています。

基本目標5 スポーツを通じた地域の活性化

〈数値目標の進捗〉

- 「さわやかアリーナ」でのトップレベルの試合等の開催回数は、基準時より増加傾向にあるものの、「さわやかアリーナ」またはエコパで観戦した市民の割合は、基準時より減少しています。コロナ禍によるスポーツイベントの中止や規模の縮小も要因と考えられます。

【図表3-40 基本目標5 スポーツを通じた地域の活性化の達成状況】

評価指標	基準値	現状値				目標値 (R7)	評価
		R3	R4	R5	R6		
この1年で総合体育館「さわやかアリーナ」またはエコパで観戦した割合	27.1% (令和2年)	—	—	—	20.0%	40.0%	△
この1年で「さわやかアリーナ」でプロスポーツの試合や全国規模の大会を開催した回数	1回	2回	3回	2回	2回	6回	○

〈取組状況〉

- 袋井市とつながりのある（連携協定・ホームタウン）プロスポーツチーム等の観戦市民招待をはじめ、試合会場でのブース出展、さわやかアリーナでの全国大会などを通じて、観戦者へ観光情報等を積極的にPRしました。
- エコパのラグビー聖地化に向け、県などとの協働として、「JUNE PRIDE」をはじめ、多彩なイベントを開催し、ラグビーの魅力を引き出しています。
- さわやかアリーナやエコパなどの高規格施設が充実している強みを生かし、スポーツ合宿誘致を進めるため、アスリートを食で応援する「袋井スポーツ飯」の開発やスポーツ合宿補助金制度を創設しました。

◆5つの基本目標に関して

- 個々の取組の進捗に差はあるものの、コロナ禍でスポーツ活動が制約されたこともあり、全体として成果が評価指標に現れていないものが多くなっています。
- 今後は、現況や社会潮流を踏まえて既存の取組を改善するとともに、部課間連携や官民連携により取組を効果的に推進する必要があります。

5 計画見直しの視点

(1) ターゲットとなる層を意識した多様なスポーツ参加機会の創出

より多くの人々がスポーツに参加しやすくなり、健康増進を進めるため、日常生活の中でスポーツを行う障壁を取り除き、それぞれのライフステージやライフスタイルに合った適切な活動を提供することが重要です。

① 子どものスポーツへの関心や体力向上に向けた取組への支援

●市はこれまで、子どもの体力・運動能力向上に向けて、力を入れて取り組んでおりますが、スポーツが好きな子どもの割合は増加傾向にある一方で、児童・生徒の体力低下はすすんでいます。

今後において、生涯スポーツの振興や競技力の向上に向け、その基礎となる子どものスポーツ活動の充実を図るため、スポーツ推進員やプロスポーツチーム等と連携し、スポーツへの関心や体力向上に向けた取組を充実していく必要があります。

●中学校の部活動地域展開に伴い、民間企業や市スポーツ協会、地域スポーツ関係団体との連携により、スポーツ指導者の確保・育成や活動する場の確保など、地域の部活動の受け皿づくりが必要です。

② 働く世代、子育て世代のスポーツ実施の促進

●人生100年時代を豊かに生きるために、すべての人の心身の健康増進が重要ですが、メタボリックシンドローム該当者の増加など、市民の健康状態の低下が懸念されています。

特に、30歳から40歳代の働く世代のスポーツ実施率が年々低下し、低い状況であるため、働く世代や子育て世代へのスポーツ実施を促進する必要があります。

●市はこれまで、市スポーツ協会などのスポーツ団体と連携した各種教室やイベントの開催、オンライン運動教室の開催や歩くのが楽しくなるスマートフォンアプリの普及等のデジタルの活用を進めてきました。今後もデジタルの活用をはじめ、親子や体験型のスポーツ教室・イベントなど、働く世代や子育て世代がスポーツに興味を持つきっかけを創り、行動へのハードルを下げる取組の強化を進めることが必要です。

●過去1年間にスポーツを実施していない市民に関心の高いスポーツはウォーキングで、スポーツの実施頻度に関わらず、若い女性を中心に市民の関心の高いスポーツはヨガ、ピラティスとなっています。このことから、道路や公園、海岸などの公共空間を活用し、誰でも、いつでも、気軽にできるスポーツ環境の整備やスポーツ教室の開催など取組の充実が求められます。

③ 障がい者など、誰もがスポーツを楽しめる環境づくり

- 障がい者スポーツ大会への参加者数は減少傾向で、障がい者のスポーツへの参加は低い状況です。障がい者でも取り組みやすいプログラムや身近な場所でスポーツに親しめる機会の創出など、障がい者が身体を動かすための取組の充実が求められます。
- 障がい者のスポーツ活動を支える人材の確保や、教育・福祉等の庁内他課や地域のスポーツ団体と連携した取り組みなど、障がい者がスポーツ活動を安心して楽しめるよう地域で支援することも必要です。
- パラスポーツの普及に向けた市の取り組み実績、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした共生社会の実現への機運の高まりによって、市民のパラスポーツの認知度は高まっているものの、観戦や実施の経験のある市民は少ない状況です。各種イベントや教室、指定管理者との連携により、パラスポーツに実際に触れる機会を増やすことが重要です。

④ スポーツ関連情報の集約と情報発信

- 全体として市発行の広報誌による情報発信を希望する市民は多いものの、若い世代ではインターネット・SNSの希望が高くなっています。ウェブ媒体と紙媒体とを組み合わせ、ターゲット層に合わせて適切に情報発信する必要があります。
- 個人が生活・興味に合う情報を入手できるよう、市の公共スポーツ施設の情報だけではなく、庁内他課や民間事業者も含めたスポーツ関連の情報を広く集約・発信する方法を検討することも望まれます。

(2) 多様化するスポーツニーズに対応した環境づくり

多様化するスポーツニーズに対応するためには、多様なスポーツの普及と、それを実践できる場の提供が不可欠です。さらに、スポーツ活動を牽引する人材・団体の育成やアスリートの育成、市民の参加を支えるボランティアの存在が重要です。

① スポーツができる場の有効活用

- 市内のスポーツ施設は量質ともに充実しつつあり、さわやかアリーナを中心に多様なイベントを開催し、利用者数は増加しています。さわやかアリーナなどのスポーツ施設をはじめ、学校体育施設や公園、海岸など、市内での運動・スポーツのできる場について、各種プログラムの実施等による有効活用を図ると同時に、適切な維持管理、安全対策が求められます。

② 多様なスポーツの楽しみ方の提供

- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、若者や女性を中心に、スケートボードなどのアーバンスポーツや、サーフィンなどのマリンスポーツへの関心が高まっています。楽しさや遊びの要素を取り入れた身体活動など、必要な環境を整え、多様なスポーツの普及を進める必要があります。
- コロナ禍が長引いたことで、市民のスポーツ活動の縮小が見られます。コロナ禍によるライフスタイルや価値観の変化、デジタル化の進展等に対応できるよう、一人でも実施できるスポーツ活動やデジタル技術を活用した取組を推進する必要があります。
- スポーツに関するデータの活用、VRを使ったリモートでも楽しめるプログラムやスポーツ実施機会の創出など、デジタル技術の活用によってより多くの人がスポーツを楽しめるよう研究する必要があります。

③ 技術力の向上による地域のスポーツ活動の旗手の育成

- トップアスリートの誕生は、市の認知度向上はもちろん、スポーツで培われた技術や経験が地域に還元されることで、市民に多様なスポーツ経験を提供することにつながります。
このため、指導者の育成、スポーツに携わる地域の団体との連携、選手の表彰、市民のスポーツ実施へのアスリートの活用など、競技スポーツの振興が重要です。

④ スポーツボランティアが参加しやすい環境づくり

- 講演会の開催などによりスポーツボランティアへの機運醸成を図っていますが、コロナ禍でのスポーツイベント等の自粛もあって、市民のボランティア参加率は低下しています。多方面にわたるボランティア活動は、行政やスポーツ指導者の負担を軽減しつつ、地域で多くのプログラムやイベントを実施するために重要です。
- 第 20 回アジア競技大会・第 5 回アジアパラ競技大会等の大規模なスポーツイベントなどを契機とした、人々のスポーツへの関心の高まりを活かしつつ、スポーツボランティアのメリットや楽しさを伝えていく必要があります。
- ボランティア希望者が自分の関心やスケジュールに合わせて柔軟に活動できるよう、活動の内容や活動時間数等のバリエーションを増やし、オンラインも活用しながら情報発信に努め、参加しやすい環境を整えることも必要です。

⑤ 持続可能なスポーツ推進体制の構築

- 継続的な市民のスポーツ活動には、市スポーツ協会やスポーツ推進委員などの関係者との連携が必要不可欠です。また、スポーツ少年団などへの支援も必要です。
- 多くの市民が主体的に参加でき、スポーツに親しむためには、スポーツ団体と連携し、スポーツ環境の充実をはじめ、中学校の部活動地域展開に向けた受け皿づくりが重要です。

(3) 官民連携による地域活力の創出

スポーツの力によって、地域の魅力を高め、観光や産業の振興につなげると同時に、市民のスポーツへの意識を高め、地域全体の活力や一体感を創出するため、行政と民間が連携し、効率的で多角的な取組を進める必要があります。

① 強みである大型スポーツ施設の有効活用

- エコパとさわやかアリーナを活かし、大規模な大会や試合の誘致・開催を進めていますが、コロナ禍での制約もある中、市民の現地観戦率は低く、スポーツへの関心の高まりにつながっていません。プロスポーツ・国際試合の誘致などに伴う地域経済の活性化に期待する市民が多いことから、引き続き、大会や試合の誘致・開催をすすめるとともに、スポーツが持つ価値を発揮し、シティプロモーションによる、地域の活性化、関係人口の拡大等に取り組むことが求められています。

② プロスポーツチームとの連携によるレガシー継承とシビックプライドの醸成

- ラグビーワールドカップ2019™を通じたラグビーへの関心の高まり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして応援したアイルランドとのつながり、袋井ゆかりのオリンピアンとの交流実績も重要なレガシーです。今後も大規模スポーツ大会のレガシーを活用し、スポーツの観戦や応援の機運を高めることが重要です。
- 大型スポーツ施設の立地、袋井市をホームタウンとして活動するプロスポーツチーム等との連携実績を活かし、市民による応援活動やプロスポーツチーム等と地域とのコラボレーションを進める必要があります。
- 観戦を楽しむための情報提供、大型スポーツ施設でのスポーツ+α のにぎわいの創出、プロスポーツチーム等との新事業の開拓など、さらに市民のスポーツへの関心を高め、スポーツを楽しめる取り組みを行っていく必要があります。

③ 人を呼び込むスポーツツーリズムの推進

- スポーツ観戦スタイルが多様化するなか、現地観戦に出かけたくなるよう、スポーツ施設だけでなく、多様な地域資源を活用し、地域全体の魅力や利便性を高める必要があります。
- スポーツ合宿誘致を含めスポーツツーリズムを推進していますが、宿泊施設の確保や食事提供場所の充実、市内での移動手段の確保が課題であり、さらなる官民の連携のもと、補助金による支援やコンテンツの魅力を必要な学校・クラブ等に発信することが必要です。
- 海、川、里山、大規模な公園などの自然環境、寺や史跡などの文化財を活かしたスポーツ活動の展開により、市民がスポーツを始めるきっかけ、市外の人を惹きつける魅力の創出も望まれます。

第4章 第5次袋井市スポーツ推進計画

1 基本方針

にぎわい ずっと続くまち ふくろい ～スポーツの力でまちを笑顔に～

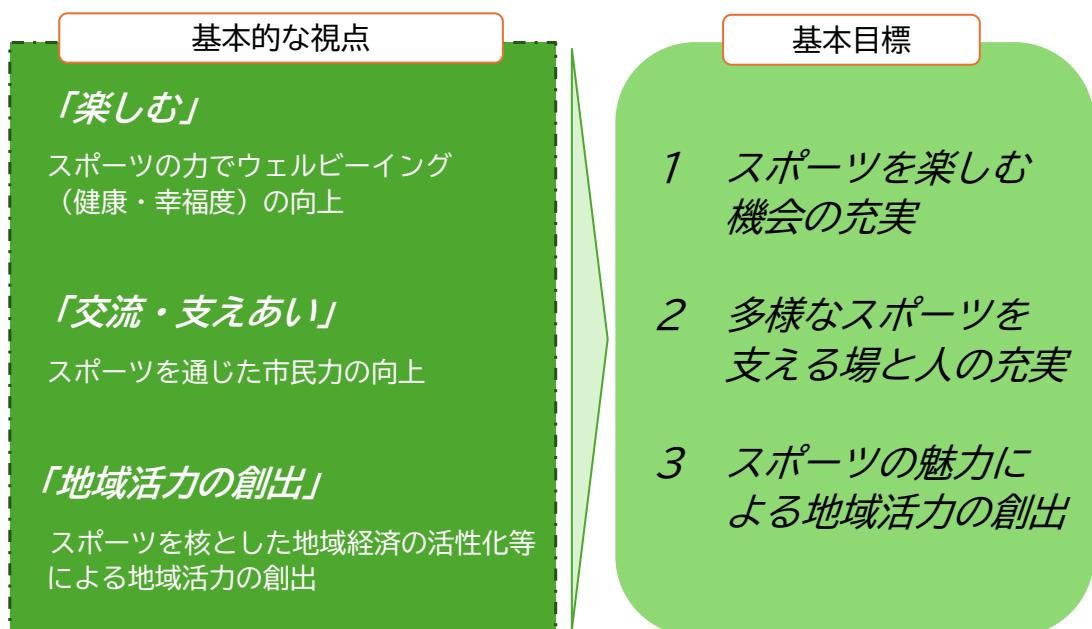
第3次袋井市総合計画では、まちづくりの普遍的理念である「日本一健康文化都市」の健康感を踏まえ、「にぎわい ずっと続くまち ふくろい」をまちの将来像とし、豊かな観光資源や文化・スポーツなどを起点とした多様な交流を通じて、まちの活力創出促進を図っています。

本計画においても、総合計画が目指すまちの将来像の実現を図るため、総合計画と同様の将来像「にぎわい ずっと続くまち ふくろい」を基本方針として定めます。そして、スポーツを「する」、「みる」、「支える」に加え、スポーツの魅力を活用することにより、スポーツに関わるみんなが笑顔になり、そしてその笑顔が新たな活力を生み出し、まちの隅々へと広がり、将来に希望を抱くことができるまちにしていくために、「スポーツの力でまちを笑顔に」と掲げ、スポーツを通じたまちづくりを推進します。

2 基本的な視点と基本目標

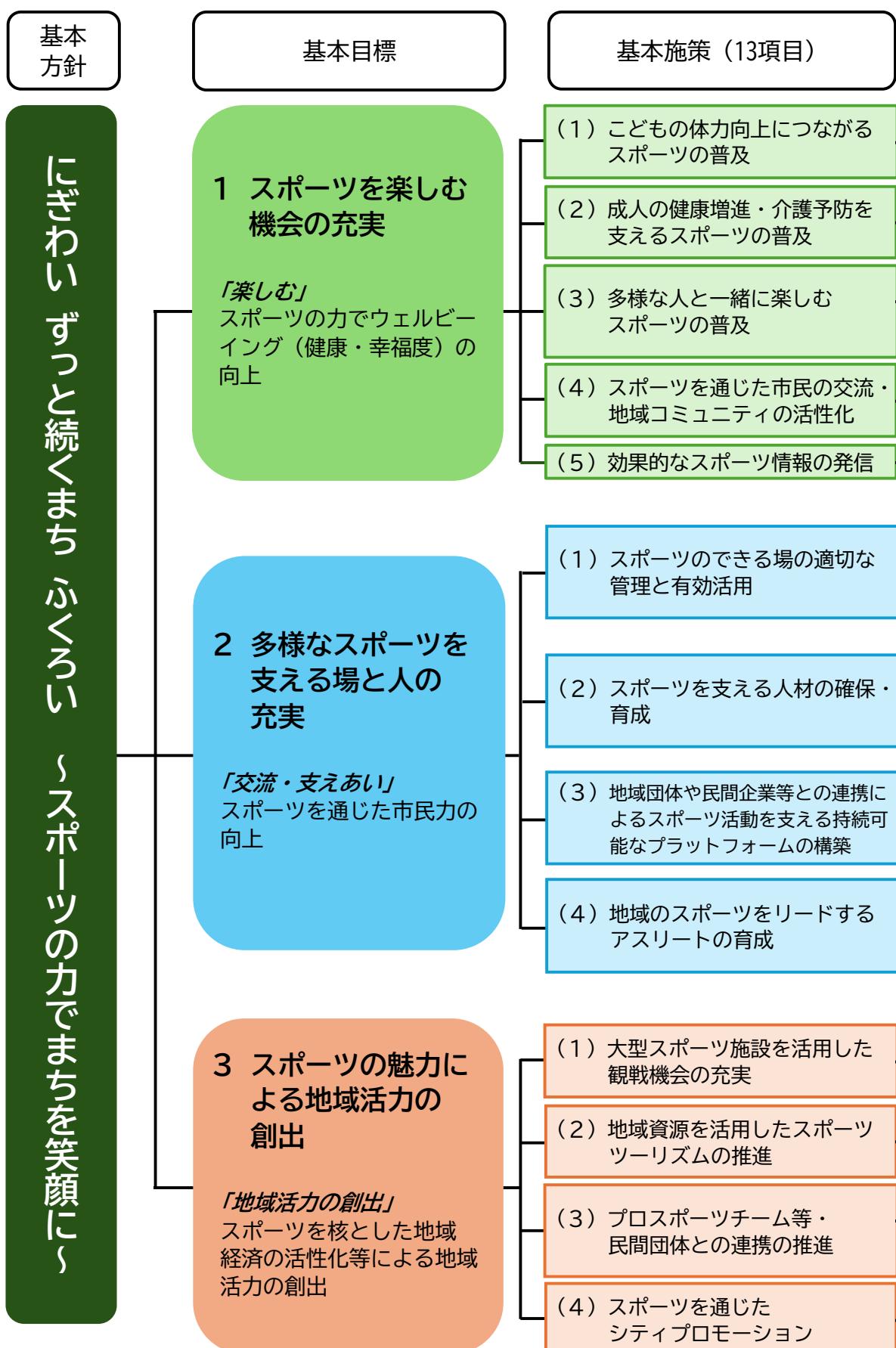
本計画では、これまで大切にしてきた考え方方に加え、スポーツを核とした地域の「にぎわい・活力創出」の視点を取り入れ、以下の3点を基本的な視点としてもち、3つの基本目標を設定し、スポーツ推進に取り組みます。

【図表4－1 基本的な視点と基本目標】



3 施策体系

【図表4－2 施策体系】



取組の方向（33項目）

- ① 幼児期からの運動あそびの推進
- ② こどもを取り巻くスポーツ環境の確保・充実

- ① 成人のスポーツ活動の充実
- ② 高齢者のスポーツによる生きがいづくりの推進

- ① 障がい者のスポーツ活動の充実
- ② 誰もが楽しめる障がい者スポーツの普及
- ③ スポーツを通じた多文化共生の推進

- ① 市民スポーツイベントの開催・充実
- ② 地区まちづくり協議会や自治会などのスポーツ活動の支援

- ① 市民への効果的な情報発信と内容の充実

- ① 公共スポーツ施設の適切な維持・管理・運営
- ② 民間のノウハウを活かした施設の管理運営
- ③ 公共施設や公共空間の有効活用

- ① 生涯スポーツ指導員の確保・育成
- ② 競技スポーツ指導者の確保・育成
- ③ スポーツ推進委員の活動の充実
- ④ 障がい者スポーツ指導者の確保・育成
- ⑤ スポーツボランティアの確保・育成

- ① 市スポーツ協会などの活動支援・連携強化
- ② 地域スポーツクラブの活動支援
- ③ 中学校部活動地域展開にともなう持続可能なスポーツ環境の整備

- ① アスリートの育成・支援
- ② トップアスリートとの交流促進
- ③ 優秀なスポーツ選手の顕彰

- ① 大規模スポーツ大会やプロスポーツなどの観戦機会の創出
- ② 全国規模のスポーツイベントの開催支援

- ① スポーツによる交流人口の拡大
- ② スポーツの魅力による新たな賑わいの創出

- ① プロスポーツチームなどとの連携・協働
- ② 民間企業との連携・協働
- ③ 大学との連携・協働

- ① 多様な情報発信者による市内外への情報発信
- ② スポーツイベントを活用したシティプロモーション

4 評価指標一覧

基本目標1 スポーツを楽しむ機会の充実

評価指標	基準値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
「運動が好き」と答える児童生徒の割合(小5・中2) [%/年]	60.9	65.0
成人のスポーツ実施率(週1回以上) [%/年]	46.5	58.5
障がい者のスポーツ施設利用者数[人/年]	5,200	5,400
スポーツを全く行わなかった成人の割合 [%/年]	23.5	14.5

基本目標2 多様なスポーツを支える場と人の充実

評価指標	基準値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
スポーツ施設の利用者数(エコパを除く) [人/年]	775,139	805,000
市内スポーツ指導者数[人/年]	204	235
スポーツボランティア登録数[人/年]	110	140
中学生のスポーツ活動への参加割合[%/年] <small>(令和7年中学生アンケート)</small>	66.3(参考値)	65.0
世界大会・全国大会出場件数[件/年]	45	60

基本目標3 スポーツの魅力による地域活力の創出

評価指標	基準値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
スポーツ観戦した市民の割合[%/年]	—	30.0
袋井市スポーツ合宿事業補助金の活用件数 [件/年]	4	10
スポーツチーム等の民間との連携事業数 [件/年]	47	65

第5章 施策の展開

基本目標1 スポーツを楽しむ機会の充実



スポーツへの自発的な参加は、楽しさや喜びを感じるとともに、心身の健康を増進し、生活を豊かにするなど、「健康力」や「生活の質の向上」、さらには、「社会的な健康」にも寄与します。

多くの人々がスポーツの楽しさや感動を分かち合い、支え合うまちを目指し、年齢、国籍及び障がいの有無にかかわらず、一人でも多くの市民が、スポーツに気軽に楽し^く取り組み、生涯を通じてスポーツを好きでいられる環境を整えます。

【図表5－1 「基本目標1 スポーツを楽しむ機会の充実」の成果指標】

評価指標	基準値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
「運動が好き」と答える児童生徒の割合(小5・中2) [%/年]	60.9	65.0
成人のスポーツ実施率(週1回以上) [%/年]	46.5	58.5
障がい者のスポーツ施設利用者数[人/年]	5,200	5,400
スポーツを全く行わなかった成人の割合 [%/年]	23.5	14.5

(1) 子どもの体力向上につながるスポーツの普及

子ども自身が幼児期から体を動かすことの楽しさに触れ、すすんで体を動かすようになるためには、家庭や学校、地域などの身近な生活の場でのスポーツ活動を充実していくことが重要です。

近年では、小中学校の児童生徒の体力低下などにみられるようスポーツ離れが懸念されるとともに、中学校部活動では、少子化、学校外のスポーツや文化芸術活動の多様化、教員の働き方改革などを背景に、部活動の地域展開に向け、多様なニーズに対応できる受け皿づくりが必要となっています。

すべての子どもたちが、楽しく親しみながらスポーツの習慣を身に付け、生涯にわたり健康に生活するための基盤や環境づくりを推進するとともに、子どもの体力向上につながるよう取り組みます。

① 幼児期からの運動あそびの推進

主な取組内容	事業概要
プロスポーツチーム等によるスポーツ教室の開催	幼稚園や保育園、こども園を対象に、協定を締結しているプロスポーツチーム等(以下、プロスポーツチーム等とする。)と連携し、スポーツ教室を開催します。
出前教室の実施	幼稚園や保育園・こども園からの依頼により、アクティブ・チャイルド・プログラム専門講師やスポーツ推進委員による運動あそびなどの出前教室を実施します。
エアロビック講師の派遣	幼稚園や保育園・こども園からの依頼により、エアロビック指導員の講師を派遣します。

主な取組内容	事業概要
指定管理者によるスポーツ教室の開催	総合体育館「さわやかアリーナ」をはじめとする市内公共スポーツ施設で、指定管理者による幼児向けのスポーツ教室を開催します。

② こどもを取り巻くスポーツ環境の確保・充実

主な取組内容	事業概要
プロスポーツチーム等によるスポーツ教室の開催【再掲】	小中学校を対象に、プロスポーツチーム等と連携し、スポーツ教室を開催します。
親子スポーツ教室の開催	小学生とその親を対象とした親子スポーツ教室を開催します。
出前教室の実施【再掲】	子ども会や放課後児童クラブなどからの依頼により、スポーツ推進委員によるニュースポーツやタグラグビーなどの出前教室を実施します。
エアロビック講師の派遣【再掲】	小中学校からの依頼により、エアロビック指導員の講師を派遣します。
ウォーキング普及事業の開催支援	地区まちづくり協議会などとの連携により、地域でのウォーキングイベントの開催を支援します。また、民間が主催するウォーキングイベントの開催を支援します。
中学校部活動の地域展開に向けたふくろい地域クラブ活動「F活」や放課後活動「ふっくらぶ」への加入促進	中学校部活動の地域展開に向け、中学生を対象に、ふくろい地域クラブ活動「F活」や放課後活動「ふっくらぶ」への加入促進を図ります。
スポーツ少年団の活動支援	スポーツ施設利用料を減免するほか、スポーツ少年団の募集に関する情報発信や加入前のこどもたちが様々な競技に触れる機会を創出するなど、加入促進と活動の充実を図ります。
市内高等学校部活動の活動支援・連携	野球の定期戦の開催を支援するほか、その他の部活についても、市内スポーツイベントへの参加促進やトップアスリートとの交流機会の創出などの連携を図ります。
指定管理者によるスポーツ教室の開催【再掲】	総合体育館「さわやかアリーナ」をはじめとする市内公共スポーツ施設で、指定管理者による小・中学生向けのスポーツ教室を開催します。

(2) 成人の健康増進・介護予防を支えるスポーツの普及

スポーツをすることは、生活習慣病やこころの健康、生活の質の改善に繋がるとともに、継続することで、将来の活動習慣、健康状態にも影響します。市民誰もが人生100年時代を豊かに過ごせるよう、様々なニーズに応じたスポーツイベントや教室の開催をはじめ、日常的にスポーツに取り組むことができる環境づくりを推進します。特に、働く世代や女性などを中心に、スポーツに興味を持つきっかけをつくり、スポーツ活動へのハードルを下げる取り組みを推進します。

① 成人のスポーツ活動の充実

主な取組内容	事業概要
親子運動教室の開催	幼児とその親を対象とした親子運動遊びや小学生とその親を対象とした親子スポーツ教室を開催します。
ニュースポーツの推進	スポーツ推進委員による地区まちづくり協議会や自治会などへのニュースポーツの出前教室や練習会・交流会を開催します。
ウォーキング普及事業の開催支援【再掲】	地区まちづくり協議会などとの連携により、地域でのウォーキングイベントの開催を支援します。また、民間が主催するウォーキングイベントの開催を支援します。
日常生活でできるスポーツの普及	スポーツを意識的に取り組めていない方でも、日常生活の中で無理なく取り組める仕組みや環境づくりを進めます。
スポーツ参加への敷居を下げる取組	スポーツに関心が薄い方や、体を動かす習慣が無い方でも足を運びたくなるような、スポーツと、他ジャンルのコンテンツを掛け合わせたイベント開催等について、研究・検討します。
アーバンスポーツなど新しいスポーツの普及啓発	アーバンスポーツやマリンスポーツ、デジタル技術を活用したスポーツ体験など、新しいスポーツの動向把握と普及啓発を図ります。
指定管理者等によるスポーツ教室の開催【再掲】	総合体育館「さわやかアリーナ」をはじめとする市内公共スポーツ施設で、指定管理者等による成人向けのスポーツスポーツ教室を開催します。 また、働く世代や女性を対象にしたスローエアロビックやヨガ、ピラティス教室など、メニューの充実や参加しやすい環境づくりに努めます。

② 高齢者のスポーツによる生きがいづくりの推進

主な取組内容	事業概要
ニュースポーツの推進【再掲】	スポーツ推進委員によるシニアクラブやふれあい・いきいきサロンなどへのニュースポーツの出前教室や練習会・交流会を開催します。
ウォーキング普及事業の開催支援【再掲】	地区まちづくり協議会などとの連携により、地域でのウォーキングイベントの開催を支援します。また、民間が主催するウォーキングイベントの開催を支援します。
スポーツや健康に関わる指導員の派遣	地区まちづくり協議会やふれあい・いきいきサロンなどからの依頼により、スローエアロビックや健康づくりに関する指導員を派遣します。

主な取組内容	事業概要
指定管理者等によるスポーツ教室の開催【再掲】	総合体育館「さわやかアリーナ」をはじめとする市内公共スポーツ施設で、指定管理者等によるスローエアロビックやアクアビクス、ピラティス教室など、高齢者向けのスポーツ教室を開催します。

(3) 多様な人と一緒に楽しむスポーツの普及

多様な人と一緒に楽しむスポーツの普及は、地域の絆を深める重要な手段となります。誰もが参加しやすい環境を整え、幅広い世代や多様な背景を持つ人々が共に楽しめる場を設けることで、市内に自然な交流が生まれ、互いの理解が深まるきっかけとなります。障がいのある方もない方も、また年齢、性別、国籍の分け隔てもなく、一緒になり楽しめるスポーツ機会の普及に取り組みます。

① 障がい者のスポーツ活動の充実

主な取組内容	事業概要
障がい者スポーツ大会等への参加促進	静岡県障がい者スポーツ大会の開催を広くPRし、積極的な参加を呼びかけます。
スポーツ施設利用料の減免	障がいのある方が気軽にスポーツ施設を利用できるようスポーツ施設利用料の減免を行うとともに、減免制度の周知に努めます。
プロスポーツチーム等によるスポーツ教室の開催【再掲】	特別支援学校を対象に、協力関係にあるプロスポーツチーム等と連携し、スポーツ教室を開催します。
出前教室の実施【再掲】	コミュニティセンターや公会堂などで、スポーツ推進委員による障がい者スポーツ教室を開催します。
エアロビック講師の派遣【再掲】	特別支援学校や各種福祉団体などからの依頼により、エアロビック指導員の講師を派遣します。
ウォーキング普及事業の開催支援【再掲】	地区まちづくり協議会などの連携により、地域でのウォーキングイベントの開催を支援します。また、民間が主催するウォーキングイベントの開催を支援します。

② 誰もが楽しめる障がい者スポーツの普及

主な取組内容	事業概要
パラスポーツ体験イベントの開催	多くの市民がパラスポーツに触れ、理解と共感を深めてもらえるよう、ボッチャや、アンプティサッカー等のパラスポーツの体験イベントを開催します。
パラスポーツ体験教室の開催	小学生を対象に、パラスポーツに触れ、理解と共感を深めてもらえるよう、ボッチャや、アンプティサッカー等のパラスポーツの教室を開催します。
インクルーシブスポーツイベントへの取組	障害の有無を問わず、誰でもスポーツを体験し、楽しむことができるインクルーシブスポーツイベントなどの開催等について、研究・検討します。

③ スポーツを通じた多文化共生の推進

主な取組内容	事業概要
スポーツ関連情報の「やさしい日本語」などによる発信	スポーツイベント情報や施設利用情報をホームページやSNSなどを活用して多言語化や「やさしい日本語」により発信し、外国人市民の参画促進を図ります。 また、スポーツ施設内に施設の利用方法などを「やさしい日本語」により掲示し、外国人が利用しやすい環境を整えます。
スポーツイベントの開催支援	袋井国際交流協会などと連携し、外国人交流のあるスポーツイベントの開催を支援します。
スポーツを通じた国際交流	アイルランドなどとのスポーツを通じた市民交流に向けた研究を行います。 市内の学校と海外の学校とのスポーツを通じた国際交流を支援します。

（4）スポーツを通じた市民の交流・地域コミュニティの活性化

多くの市民が気軽に参加できるスポーツイベントの開催や、地区まちづくり協議会や自治会などへの支援を通じて、市民が身近な場所でスポーツ活動に取り組みやすい環境整備にかかる施策を展開します。

① 市民スポーツイベントの開催・充実

主な取組内容	事業概要
市民参加型のスポーツイベントの開催	袋井スポーツデーや市駅伝大会など、市民が楽しめるスポーツイベントをスポーツ関係団体と連携し、開催します。
スポーツ関係団体によるスポーツイベント等への開催支援	市スポーツ協会などのスポーツ関係団体が主催するスポーツ教室・イベントなどの開催を支援します。

② 地区まちづくり協議会や自治会などのスポーツ活動の支援

主な取組内容	事業概要
地域スポーツイベントの開催支援	各地域で開催するスポーツイベントについて、スポーツ推進委員との連携やスポーツ関係団体の協力を促すなど、開催に向けた支援を行います。

（5）効果的なスポーツ情報の発信

年代や趣味嗜好により、情報収集の方法も多様化しているため、市民一人ひとりが求める情報をそれぞれが求める形で受信できるよう、SNSなどのデジタルメディアや紙媒体等を活用し、効果的な情報発信を図ります。

① 市民への効果的な情報発信と内容の充実

主な取組内容	事業概要
広報ふくろい・ホームページによる情報発信	市やスポーツ関係団体のスポーツ教室やイベント、施設情報等を、広報ふくろいやホームページを通じて市民に発信します。
メローねっとやSNSを活用した情報発信	メローねっとや、インスタグラムなどのSNSを活用し、スポーツイベントやスポーツ活動内容を効果的に発信します。
市スポーツ協会と連携した情報発信	市スポーツ協会の広報誌やホームページ等で、市内の選手・団体の全国大会出場・入賞などの活躍や各種イベント情報などを発信します。

基本目標2 多様なスポーツを支える場と人の充実



スポーツ施設の環境整備をはじめ、アスリートの競技力向上や指導者の発掘と育成を図るとともに、プロスポーツ選手やトップアスリートとの交流を通じて、市民のスポーツへの理解、関心が高まるようスポーツ活動を支える環境を整えます。また、教育的意義も踏まえた中学校部活動の地域展開に向けた受け皿づくりと、地域全体で支える仕組みづくりに取り組みます。

【図表5－2 「基本目標2 多様なスポーツを支える場と人の充実」の成果指標】

評価指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
スポーツ施設の利用者数（エコパを除く）[人/年]	775,139	805,000
市内スポーツ指導者数[人/年]	204	235
スポーツボランティア登録数[人/年]	110	140
中学生のスポーツ活動への参加割合[%/年]	66.3(参考値) (令和7年中学生アンケート)	65.0
世界大会・全国大会出場件数 [件/年]	45	60

(1) スポーツのできる場の適切な管理と有効活用

市民誰もが利用しやすい施設となるよう維持・管理を行い、ハード、ソフト両面からスポーツ施設の機能維持・向上を図るとともに、指定管理者の民間ノウハウを活用しつつ、スポーツ施設の有効活用を推進します。

① 公共スポーツ施設の適切な維持・管理・運営

主な取組内容	事業概要
適切な公共スポーツ施設の維持・管理	「スポーツ施設3Rプロジェクト」等に基づく計画的な大規模改修等による長寿命化や性能水準の引き上げ、規模・配置の最適化を図ります。
I C Tを活用した予約システムの有効活用	利用する個人・団体が簡単・気軽に施設予約及び利用料納付ができるよう、I C Tを活用した予約システムの運用及びキャッシュレス決済を推進します。

② 民間のノウハウを活かした施設の管理運営

主な取組内容	事業概要
モニタリングの実施	指定管理者による施設の適正な管理・運営を、毎月の報告に加え、毎年度、モニタリングを実施します。
指定管理施設の枠組みの検討	指定管理期間の更新時期に、指定管理を委託している施設の、より効率的・有効的な管理運営となる枠組みを検討します。
サウンディング（市場調査）の実施	市民ニーズや施設の有効的な利活用とともに適切な施設管理委託料の算定のため、サウンディング（市場調査）を実施します。
指定管理者によるスポーツ教室の開催【再掲】	総合体育館「さわやかアリーナ」をはじめとする市内公共スポーツ施設で、多様化する市民ニーズと各施設や地域の特性に応じた指定管理者等によるスポーツ教室を開催します。

③ 公共施設や公共空間の有効活用

主な取組内容	事業概要
学校体育施設の開放	市内すべての学校体育施設（小学校12校、中学校4校）において、より市民や団体が利用しやすい方法で休日や夜間の施設開放を行います。
中学校部活動の地域展開に向けた活動場所の確保への支援	学校体育施設を中心に、ふくろい地域クラブ活動「F活」登録団体の活動場所の確保に必要な支援を行います。
公共空間の利活用	ウォーキングやヨガ、アーバンスポーツやマリンスポーツなど多様化するスポーツ活動に柔軟に対応できるよう、道路や公園、海岸などの公共空間の利活用について調査・研究します。

（2）スポーツを支える人材の育成

年代や障がいの有無、競技レベルにかかわらず、誰もが生涯を通じてスポーツを楽しめるよう、市スポーツ協会などのスポーツ関係団体と連携し、指導者の確保及び資質の向上を図ります。

スポーツボランティアは人材の減少や高齢化が進むとともに、スポーツ活動への関与に積極的ではない市民が増加している現状があり、市スポーツ協会などと連携し、スポーツボランティアの役割ややりがいを発信することで人材確保・育成を進めるとともに、より多くの人々が参加しやすい環境を整備することで、スポーツを支える人材の育成を推進します。

① 生涯スポーツ指導員の確保・育成

主な取組内容	事業概要
レクリエーション指導者などの確保・育成	日本レクリエーション協会等で開催している各種講座や講習会への参加を広く市民へ呼びかけるなど、指導員等の確保・育成に努めます。
初級レベルの指導者講習会の開催	指定管理者や市スポーツ協会と連携し、基礎的な知識・技術を習得するための指導者育成講習会を開催します。
スローエアロビック指導者研修会の開催	エアロビック普及および、市民の軽運動促進に向け、介護施設・教育現場・シニアクラブなどでのスローエアロビック指導に必要な知識と技術を習得する勉強会を開催します。
中学校部活動の地域展開に向けた放課後活動「ふっくらぶ」への指導者の登録促進	放課後活動「ふっくらぶ」の充実を図るため、スポーツ関係団体に活動の周知および指導者等の登録促進を図ります。
スポーツ指導者育成事業助成金の交付	市内在住かつ市内のスポーツ団体に所属している方を対象に、スポーツ・レクレーション指導者の資格取得や更新にかかる費用を助成します。

② 競技スポーツ指導者の確保・育成

主な取組内容	事業概要
競技スポーツ指導者講習会の開催	指定管理者や市スポーツ協会などのスポーツ関係団体と連携し、様々な分野の専門性が高い講師による指導者向けの講習会を開催します。 また、市内で活動するスポーツ団体の指導者同士の連携・強化を図り、後継者の確保・育成の支援に努めます。
熱中症対策研修会の開催	指定管理者や市内栄養管理士と連携し、熱中症に関する原因や予防策の実践など、指導に必要な知識や技術を習得する研修会を開催します。
スポーツ指導者の養成講習会に係る周知・支援	各競技団体や国・県スポーツ協会などで開催している各種講習会の情報提供を行うとともに、積極的に参加できるよう支援を行います。
スポーツ指導者育成事業助成金の交付【再掲】	市内在住かつ市内のスポーツ団体に所属している方を対象に、スポーツ指導者の資格取得や更新にかかる費用を助成します。
中学校部活動の地域展開に向けたふくろい地域クラブ活動「F活」指導者の資格取得への支援	既存部活動の競技種目に加え、新たな種目のクラブ化やF活への登録に対応するため、指導に必要な資格取得の支援を行います。

③ スポーツ推進委員の活動の充実

主な取組内容	事業概要
スポーツ推進委員研修会の開催	スポーツ推進委員の資質向上や技能取得のため、スポーツ推進委員会が主体となって研修会を開催します。
県スポーツ推進委員連絡協議会が行う研修会などへの派遣	スポーツ推進委員の資質向上や技能取得のため、県などが行う研修会などへスポーツ推進委員を派遣します。
地区まちづくり協議会との連携	スポーツ推進委員と地区まちづくり協議会との連携を深め、地域の要望に合わせたスポーツ大会やイベントなどの企画・運営に積極的に参画します。

④ 障がい者スポーツ指導者の確保・育成

主な取組内容	事業概要
障がい者スポーツ指導員養成講座等の開催周知	県が実施している障がい者スポーツ指導員養成講座等の受講を広く市民に呼び掛けます。
障がい者スポーツ活動を支える人材の確保・育成	障がい者のスポーツニーズの把握に努めるとともに、障がい者スポーツ団体等と連携し、パラスポーツ指導者の確保・育成に努めます。
スポーツ指導者育成事業助成金の交付【再掲】	市内在住かつ市内のスポーツ団体に所属している方を対象に、障がい者スポーツ指導者の資格取得や更新にかかる費用を助成します。

⑤ スポーツボランティアの確保・育成

主な取組内容	事業概要
スポーツボランティアの周知及び人材確保	アジア競技大会など大規模スポーツ大会を契機としたスポーツへの関心の高まりを活かしつつ、市スポーツ協会と連携し、ボランティアの役割や必要性、やりがいなどを効果的に発信し、ボランティアに参画する人材確保に努めます。 国際交流協会や社会福祉協議会など関係機関と連携し、外国語や手話通訳者などの確保に努めます。
スポーツボランティアの資質向上	スポーツボランティアの資質向上のため、研修会や講習会などの開催を支援します。
スポーツボランティアの魅力ある活動の場の提供	市内のスポーツ大会やイベントにて、やりがいや参画したいと感じるようなボランティアの機会を提供します。 参加希望者が自身の関心やスケジュールに合わせて参加しやすいよう、活動内容や活動時間のバリエーションの増加など、参加しやすい環境を整えます。

(3) 地域団体や民間企業等との連携によるスポーツ活動を支える持続可能なプラットフォームの構築

多くの市民が主体的に参画でき、スポーツに親しむことができるスポーツ環境を充実させることをはじめ、中学校部活動の地域展開を推進するため、スポーツ関係団体等と連携し、地域でスポーツを支えるプラットフォームの構築に取り組みます。

① 市スポーツ協会などの活動支援・連携強化

主な取組内容	事業概要
市スポーツ協会活動支援	市スポーツ協会へ補助金を交付し、各競技部や支部、スポーツ少年団の運営や各種スポーツイベントの開催などの活動を支援します。
スポーツ施設利用料の減免	市スポーツ協会所属の各競技部や支部、スポーツ少年団のスポーツ施設利用料を減免し、活動を支援します。
クラウンメロンマラソンの開催支援	クラウンメロンマラソンの開催に関し、補助金を交付するとともに、企画・運営にかかる支援・協力を行います。
スポーツ少年団の活動支援 【再掲】	スポーツ少年団の募集に関する情報発信や加入前のこどもたちが様々な競技に触れる機会を創出するなど、加入促進と活動の充実を図ります。
スポーツ関係団体間の連携	市内スポーツ関係団体間の連携を図るため、情報交換の場や協力体制の構築など、ネットワーク化を図ります。
スポーツ関係団体事業の共催・後援	スポーツ関係団体が計画する大会や記録会などを共催または後援し、事業開催を支援します。

② 地域スポーツクラブの活動支援

主な取組内容	事業概要
既存クラブの活動支援と新規クラブの育成	学校体育施設の開放などにより、活動の場を提供するほか、他クラブとの交流大会の開催などを通じてクラブ活動の維持を支援します。また、各種スポーツ教室や市民ニーズに応じた新たなスポーツクラブの育成を支援します。
地域スポーツクラブの情報の発信	広報ふくろいや市ホームページ、SNS等、様々な媒体により、地域スポーツクラブの活動を情報発信し、認知度の向上に努めます。

③ 中学校部活動地域展開にともなう持続可能なスポーツ環境の整備

主な取組内容	事業概要
ふくろい地域クラブ活動「F活」への登録促進【再掲】	ふくろい地域クラブ活動「F活」の充実を図るため、スポーツ関係団体などに、活動の周知およびクラブ登録促進を図ります。
放課後活動「ふっくらぶ」への指導者の登録促進【再掲】	放課後活動「ふっくらぶ」の充実を図るため、スポーツ関係団体などに、活動の周知および指導者等の登録促進を図ります。
ふくろい地域クラブ活動「F活」や放課後活動「ふっくらぶ」への加入促進【再掲】	中学生のスポーツ活動の推進を図るため、ふくろい地域クラブ活動「F活」や放課後活動「ふっくらぶ」への加入促進を図ります。
指導者の資格取得支援【再掲】	既存部活動の種目(運動部11種目)に加え、これまで部活動になかった種目も対象とする「F活」への登録や新規クラブ創設を促進するため、指導に必要な資格取得の支援を行います。
活動場所の確保に向けた支援【再掲】	ふくろい地域クラブ活動「F活」の主体的な活動場所の確保に必要な支援を行います。
地域クラブ活動と地元企業の連携支援	地元企業での職業体験や、講演・勉強会などを通じた地域クラブ活動のこどもたちと地元企業の積極的な結びつきをサポートするとともに、「F活」や「ふっくらぶ」の運営プラットフォームを窓口とした、企業からの地域クラブ活動支援体制を整備するなど、地域クラブ活動と地元企業の連携支援を進めます。
持続可能なプラットフォームの構築に向けた調査・研究	スポーツ協会をはじめとするスポーツ関係団体と連携し、部活動地域展開を推進するための、持続可能なプラットフォームの構築に向け、調査・研究します。

(4) 地域のスポーツをリードするアスリートの育成

地域のスポーツをリードするアスリートが誕生することは、その技術や経験の地域への還元につながり、市民への多様なスポーツ経験の提供など、市スポーツ振興に多くの恩恵をもたらす可能性があります。アスリートの育成に向け、スポーツ関係団体と連携し、プロスポーツチーム等やトップアスリートとの交流機会の促進により、大きな目標をもって競技スポーツに取り組む意欲の向上や、高い技術に触れる機会の創出など、競技力向上につながる取組を推進します。

①アスリートの育成・支援

主な取組内容	事業概要
トップアスリートとの交流事業の開催	各競技のトップアスリートを招聘し、技術の習得や意欲の向上を目指す、トップアスリート交流事業を開催します。
ジュニアアスリート強化システムの充実	市スポーツ協会等と連携し、選手強化システムの充実や競技別練習会（トレセンなど）を開催します。
選手の育成	市スポーツ協会との連携により、市町対抗駅伝に向けた練習会などの実施により、選手の育成を図ります。
各年代に応じた適正な指導の徹底	トップアスリートによる体の動かし方講座の実施や、市スポーツ協会などのスポーツ関係団体との連携により、年代に応じた適切な運動量・練習量を見極め、ジュニアアスリートがより長く競技を継続できるよう努めます。
保護者や指導者向けセミナー等の実施	保護者や指導者を対象に、理学療養士や、スポーツ栄養士などの専門家と連携し、ケガの防止や栄養学、心理学などをテーマとするジュニアアスリートに大切なセミナーを開催します。

② トップアスリートとの交流促進

主な取組内容	事業概要
小中学校へのトップアスリートの派遣	小中学校やスポーツ団体などへプロスポーツチーム等の選手や指導者を派遣します。
スポーツ講演会の開催	プロスポーツ選手やオリンピアンなどによる講演会を開催します。
スポーツイベントへのトップアスリートの招聘	プロスポーツ選手やオリンピアン、トップアスリートなどをイベントに招き、市民と交流する機会を創出します。

③ 優秀なスポーツ選手の顕彰

主な取組内容	事業概要
全国大会等出場助成金の交付	全国大会等に出場する選手・団体に対し助成金を交付します。
顕彰機会の創出	市スポーツ協会総会での表彰において、活躍が顕著である選手や指導者等を顕彰します。

基本目標3 スポーツの魅力による地域活力の創出



小笠山総合運動公園エコパや総合体育館「さわやかアリーナ」を活用した大規模な大会の開催支援やスポーツ合宿の誘致、プロスポーツチーム等との連携によるスポーツ観戦機会の創出や、スポーツを通じた様々な交流の推進、さらには、スポーツを核とした商業振興、観光交流の促進など、スポーツを活かしたまちづくりを推進し、地域経済の活性化等による地域活力の創出を図ります。

【図表5－3 「基本目標3 スポーツの魅力による地域活力の創出」の成果指標】

評価指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
スポーツ観戦した市民の割合[%/年]	—	30.0
袋井市スポーツ合宿事業補助金の活用件数 [件/年]	4	10
スポーツチーム等の民間との連携事業数 [件/年]	47	65

(1) 大型スポーツ施設を活用した観戦機会の充実

エコパスタジアム・アリーナや総合体育館「さわやかアリーナ」への国際大会や全国大会などの誘致・開催支援やプロスポーツチーム等との連携によるスポーツ観戦機会の創出など、トップレベルの競技スポーツの観戦機会を創出し、スポーツへの関心や取り組む意欲を高めます。

① 大規模スポーツ大会やプロスポーツなどの観戦機会の創出

主な取組内容	事業概要
大規模スポーツ大会などの誘致・開催支援	アジア競技大会など、トップアスリートによるイベント・大会などの開催を誘致し、観戦機会の創出を図ります。
プロスポーツなどの観戦機会の創出	プロスポーツチーム等との連携によりスポーツ観戦機会を創出します。

② 全国規模のスポーツイベントの開催

主な取組内容	事業概要
全国高等学校総合体育大会卓球競技大会の開催	大会を開催するとともに、卓球の普及や本市の魅力を全国に情報発信します。
JOCジュニアオリンピックカップ全国エアロビック選手権大会の開催	大会を開催するとともに、エアロビックの推進や本市の魅力を全国に情報発信します。併せて、袋井市発祥のスローエアロビックの普及推進を図ります。

(2) 地域資源を活用したスポーツツーリズムの推進

市内のスポーツ施設や観光・地域資源の活用により、スポーツをきっかけとする人々の交流や、商業振興、観光交流を促進し、交流人口の拡大を図るとともに、「うみてらすDORI」や「ふくろいセントラルパーク」など新たな賑わいの創出に向けた取組や、こうした本市の魅力を市内外に発信することで、スポーツによるまちの賑わいづくりを推進します。

① スポーツによる交流人口の拡大

主な取組内容	事業概要
スポーツ目的の観光客の受入れ環境の整備	市内商工業者やスポーツ関係団体等と連携し、スポーツ飯の開発・認定や観光情報の提供など、観光客の受入体制を整え、スポーツ目的で本市を訪れたくなるよう、環境整備を進めます。
スポーツ・観光資源のPR	本市のスポーツ・観光資源を積極的に市外へPRし、スポーツをきっかけとする交流人口の増加を目指します。
スポーツ合宿の誘致	市内のスポーツ施設や宿泊施設を活用し、スポーツ合宿を実施する団体へ補助金を交付します。
エコパのラグビー聖地化に向けた県などとの協働	ラグビーワールドカップ 2019™を契機とするエコパの「ラグビー聖地化」に向けた静岡県や関係市などの取組と連携し、ラグビーに関連する地域活性化に繋がるイベントの開催や競技普及事業を実施します。

② スポーツの魅力による新たな賑わいの創出

主な取組内容	事業概要
JR袋井駅新幹線南地区 ふくろいセントラルパーク構想の展開	スポーツと観光、飲食業等の産業や子育て、交流、体験、防災など多様な分野（ヒト・モノ・コト）と連携、融合したまちづくり（空間づくり）を展開し、賑わいと新たな価値を創出します。
浅羽海岸 「うみてらすDORI」を活用した賑わいづくり	海や砂浜をはじめ、防潮堤、スポーツ施設などエリア全体の地域資源を活用し、マリンスポーツやアーバンスポーツのほか各種イベントの開催支援等により賑わいの創出を図ります。

(3) プロスポーツチーム等・民間団体との連携の推進

本市内外に拠点をもつプロスポーツチーム等や企業・大学などとの連携を強化し、スポーツ振興をはじめ、次世代を担う人材育成、さらには地域課題を共に解決し、地域振興に繋げていけるよう、スポーツ関係団体等と協力して、スポーツによるまちづくりを推進します。

① プロスポーツチームなどとの連携・協働

主な取組内容	事業概要
社会連携事業の実施	プロスポーツチーム等と連携し、スポーツ振興や青少年の育成、地域振興などに関する社会連携をスポーツチームと進め、スポーツを軸とした豊かなまちづくりに向け、取り組みます。
市民観戦招待企画の実施	プロスポーツチーム等と連携し、「袋井市民デー」など、市民の観戦機会の充実を図ります。
プロスポーツチーム等との新規パートナー協定等の締結	静岡県内に拠点をもつプロスポーツチーム等と、新たなパートナー協定等の締結に向け、調査・研究する。

② 民間企業との連携・協働

主な取組内容	事業概要
社会連携事業の実施【再掲】	協定を締結している企業などと連携し、スポーツ振興や青少年の育成、地域振興などに関する社会連携を進め、スポーツを軸とした豊かなまちづくりに向け、取り組みます。
出前健康教室の実施	市内事業所・団体を対象に、登録運動講師や保健士、栄養士を派遣し、手軽にできる運動の紹介や健康講話などを行います。
企業のスポーツイベントへの支援	企業スポーツイベントやJRさわやかウォーキングなどの企業独自のスポーツイベントの開催を支援します。
企業に対するスポーツ情報の発信	市内商工団体との連携により、市のスポーツイベントや施設情報等を企業を通じて発信し、参加・利用を促進します。

③ 大学との連携・協働

主な取組内容	事業概要
社会連携事業の実施【再掲】	静岡理工科大学及び静岡産業大学と、スポーツを通じた地域連携事業に取り組み、まちづくりや人材育成につなげていきます。
地域課題研究の推進	研究機関である大学の強みを活かす地域課題研究事業等への支援を行い、地域の課題解決に向け大学と連携・協働し、取り組みます。

(4) スポーツを通じたシティプロモーション

魅力あるスポーツ情報を様々な角度から市内外へ情報発信するとともに、スポーツイベント等への来場者に向けたシティプロモーションを行うなど、スポーツをきっかけとした本市の魅力発信に努めます。

① 多様な情報発信者による市内外への情報発信

主な取組内容	事業概要
報道機関・地元情報誌を活用した情報発信	新聞・テレビ・ラジオ、地元情報誌などのメディアへの積極的な情報提供を行い、スポーツに関する情報を市内外へ広く発信します。
トップ広報を活かした情報発信	各種スポーツイベント情報を市長定例記者会見により広く発信するとともに、全国大会に出場・入賞した選手・団体の活躍を市長表敬を通じて発信します。
参加者を通じた情報拡散	大会や魅力あるイベントの開催等により参加者自身がSNSへの投稿など、自発的に情報発信してもらえるよう働きかけます。

② スポーツを活用したシティプロモーション

主な取組内容	事業概要
スポーツイベントなどでのシティプロモーション活動の実施	市内スポーツイベントや大規模大会などへの来場者を対象として、SNSやホームページを活用して観光情報等を発信するほか、会場で市の魅力発信を行うなどシティプロモーションを図ります。
スポーツ・観光資源のPR 【再掲】	スポーツ合宿の誘致により、スポーツ施設や宿泊施設のほか、飲食店や観光資源を発信することで、スポーツツーリズムの推進を図ります。 既存のスポーツ施設をはじめ、新たにぎわい創出エリアや文化・観光資源を積極的に市外へPRし、スポーツをきっかけとする交流人口の増加を目指します。

第6章 スポーツ推進計画の実現に向けて

1 各主体の役割

計画の推進に向けては、市民が主体的にスポーツに取り組むことはもとより、行政のみならず、スポーツ関係団体や各種関連機関も本計画の示す方向性を共有化しながら、互いに自らの特性を活かして、スポーツ推進の担い手となって取り組むことが重要になります。

【図表6－1 各主体の役割】

関係者	期待される役割
市民	スポーツ推進の主役として、多様性に応じたスポーツの実践により、健康増進を図り生活をより豊かなものにするとともに、各種スポーツイベントに積極的に参画することで、まちを活気づける主体となっていくことが期待されます。
スポーツ関係団体	市スポーツ協会は、設立から80年近くの歴史を持ち、所属する各競技部や各地区の支部、スポーツ少年団など中核組織として、より多くの市民がスポーツに親しみ・楽しむことができる生涯スポーツの推進及び競技スポーツの充実・強化といった重要な役割を担っています。各支部における地域コミュニティの活性化に向けた取組の実施はもとより、近年では、ラグビーワールドカップ2019™のレガシー創出やスポーツツーリズムの推進に向けた取組を始動し、行政や観光、産業をはじめとする各種団体等とのより一層の連携による地域の活性化への取組が期待されています。
	各競技連盟や地域のスポーツクラブなどスポーツ団体のそれぞれの特性を活かしながら、市民が生涯を通じて楽しくスポーツを実施できる環境や機会の充実に向けた取組が期待されます。
	幼稚期からの運動習慣の定着や学校体育・運動部活動においては、児童・生徒などの運動機会の確保と体力向上、スポーツ習慣の定着化に向けた継続的な取組が期待されるとともに、部活動の地域展開に向け、スポーツ関係団体とのより一層の連携が求められています。また、小中学校においては、学校体育施設の開放を行い、部活動の地域展開に向けて活動場所の確保や地域の身近なスポーツ活動の場を提供します。
	大学が有している人材や施設・設備、情報、ノウハウなどの資源の活用や研究分野での協力などにより、地域や市民スポーツ活動、競技スポーツにおける開かれた大学づくりが期待されます。
	従業員への健康意識の啓発やスポーツ活動の奨励などにより、安定した企業経営を担うとともに、施設・設備、情報、技術などの企業が所有する資源活用やスポーツイベントへの参画など、行政との幅広い連携が期待されます。
	民間のノウハウを最大限に活かし、より多くの市民が快適に利用できるよう適切な施設運営及び維持管理を行います。また、スポーツ関係団体などとの連携によるスポーツイベントやスポーツ教室・講座の開催、全国的な行事・大会の誘致など、各施設や指定管理者の特性に応じたスポーツ環境の提供が期待されます。
	市民への様々なスポーツの実技指導や助言、スポーツ・レクリエーション活動のサポート、ニュースポーツの普及など、ライフステージ毎の市民ニーズや地域特性などに応じたスポーツ活動推進の担い手として活動します。

関係者	期待される役割
スポーツ推進審議会	学識経験者やスポーツ関係団体の代表者などで構成し、本計画に基づく本市のスポーツ活動における各種取組の進捗を隨時確認するとともに、各分野の専門的な見地より重点施策等の重要事項について審議します。審議会における提言・意見については、可能な限り本市のスポーツ推進事業に反映させます。
行政	多くの市民がそれぞれのライフスタイルやライフステージに合わせ、生涯を通じてスポーツに親しめる環境を提供するため、各種スポーツ施策を総合的、一元的に推進するとともに、庁内関係各課やスポーツ関係団体はもとより、市内の産業・観光分野などとの幅広い連携により、スポーツによる地域経済の活性化に取り組みます。また、指定管理者制度やPFI事業の活用による公共スポーツ施設の適切な運営・管理に努め、市民のスポーツ環境の充実を図ります。

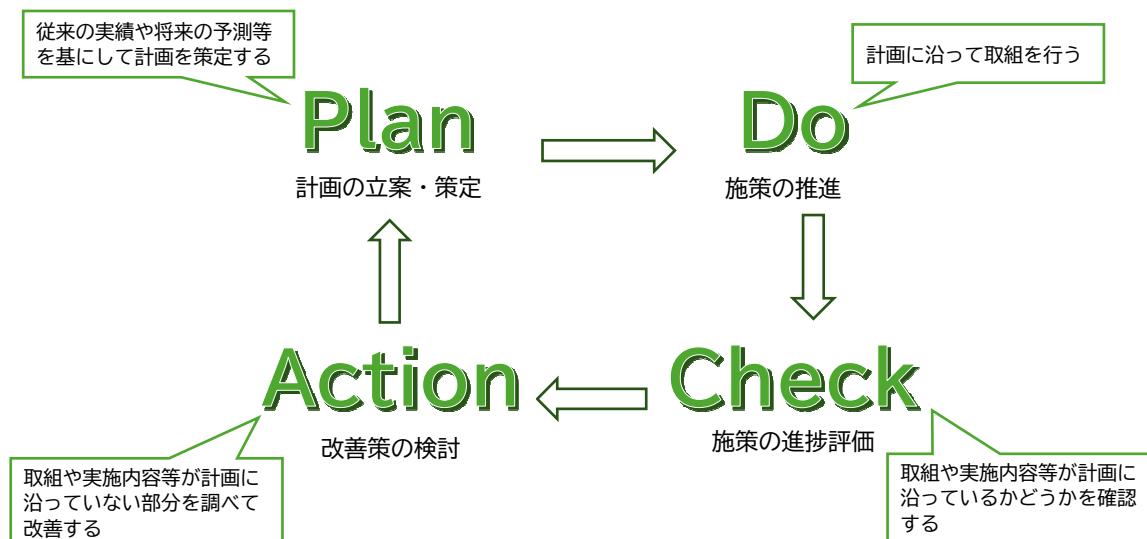
2 計画の推進体制

(1) 計画の進行管理

本計画を推進していくためには、計画の進捗状況を把握し、計画的に取組を進めていくことが必要です。そのため、計画の進捗状況の検証及び評価については、「袋井市スポーツ推進審議会」に報告し、改善の検討などを行います。

計画を効果的かつ着実に推進するために、「P D C Aサイクル」 計画（Plan）→実行（Do）→点検・評価（Check）→改善（Action）を確立し、継続的に計画の進行管理を実施していきます。

【図表6－2 P D C Aサイクル】



(2) 行政における推進体制の強化

本計画は、スポーツ・健康づくりに関する事項を定めた他計画と調和が保たれたものでなければなりません。計画の円滑な実施のために、庁内関係各課と計画の進捗状況を共有し、取組を進めていきます。

(3) 国や県、周辺市町との連携

健康づくりへの関心の高まりとともに、スポーツ・レクリエーション活動に対する国民ニーズは高くなっています。国や県と密に情報交換を行いつつ、必要な助言及び適切な援助を受けるとともに、特に専門性の高い施策及び市域を超えた広域的な対応が必要な場合は、連携を強化して取り組んでいきます。

資料編

1 スポーツを取り巻く現状

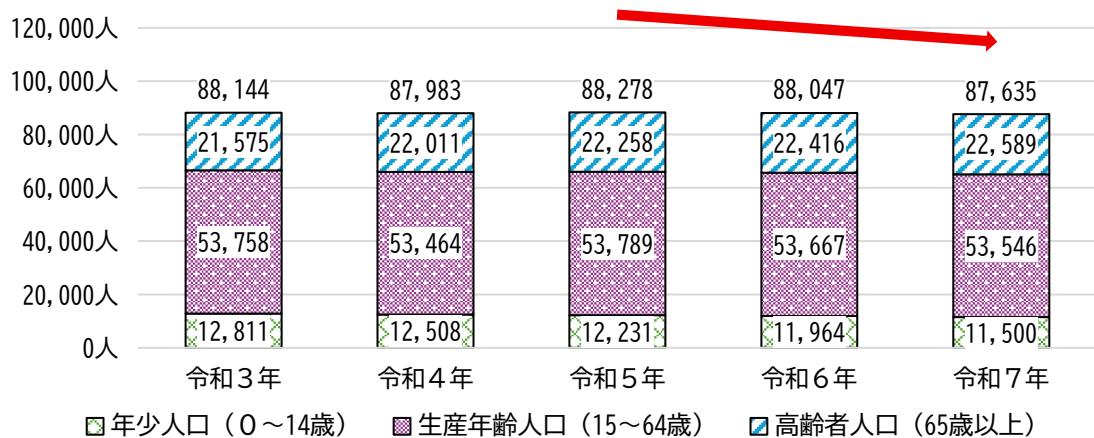
(1) 本市の人口等の状況

① 総人口の状況

本市の総人口について、2023年（令和5年）以降減少傾向にあり、2025年（令和7年）では87,635人となっています。

【図表資－1 総人口の推移】

各年4月1日現在

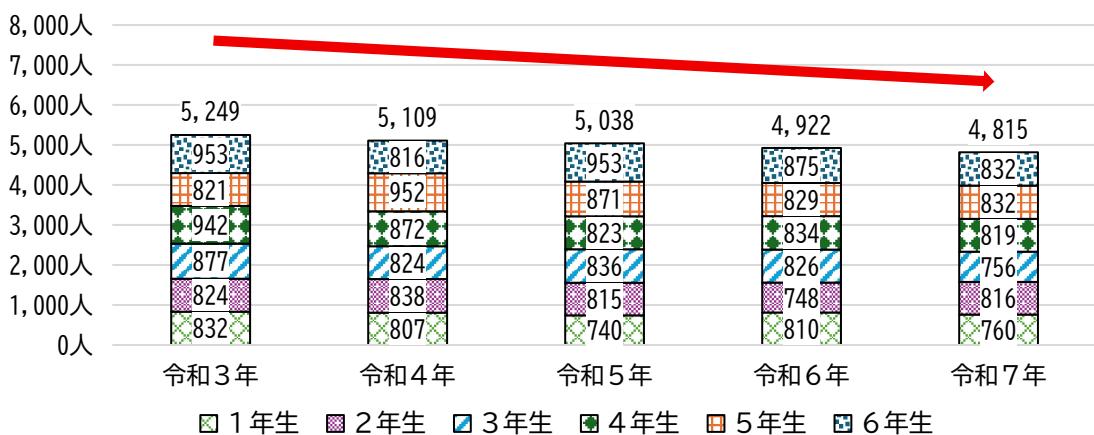


② 小学校児童数の状況

本市の小学校児童数について、2021年（令和3年）以降減少傾向にあり、2025年（令和7年）では4,815人となっています。

【図表資－2 小学校児童数の推移】

各年5月1日現在

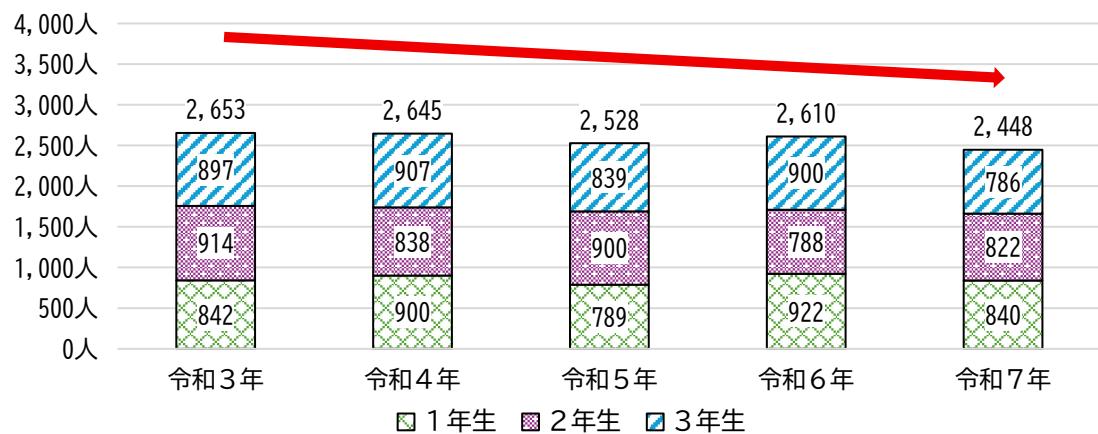


③ 中学校生徒数の状況

本市の中学校生徒数について、2021年（令和3年）以降減少傾向にあり、2025年（令和7年）では2,448人となっています。

【図表資－3 中学校生徒数の推移】

各年5月1日現在

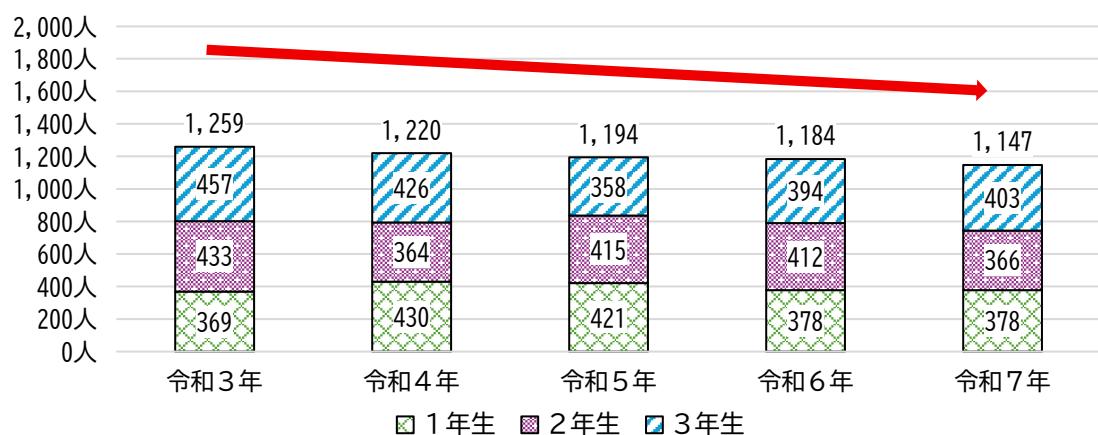


④ 高等学校生徒数の状況

本市の高等学校生徒数について、2021年（令和3年）以降減少傾向にあり、2025年（令和7年）では1,147人となっています。

【図表資－4 中学校生徒数の推移】

各年5月1日現在



(2) 公共スポーツ施設の状況

① 市内スポーツ施設等の建設状況（完成順）

	施設名	完成	施設機能	競技場等の大きさ
1	浅羽球技場	S52. 2	野球場、 スタンドなし (芝生斜面)	野球1面、ソフト2面 (両翼 90m、センター116m)
2	浅羽体育センター	S55. 5	競技場、卓球 室、会議室、 更衣室	競技場（バレー2面、バスケ1 面）、卓球室（卓球5台）
3	袋井体育センター	S56. 3	競技場、 卓球室、会議 室、更衣室	競技場（バレー2面、バスケ1 面）、卓球室（卓球5台）
4	袋井東地区コミュニティ広場	S56	多目的広場	ソフト約1面
5	愛野公園テニスコート	S56. 3	テニスコート	4面(クレー) 42m×75m
6	浅羽テニスコート	S57. 3	テニスコート	2面（砂入り人工芝）
7	愛野公園野球場	S57. 9	野球場、 一部スタンド あり	野球1面、ソフト1面 (両翼 92m、センター118m)
8	浅羽北多目的運動広場	S59. 2	多目的広場	野球1面、ソフト2面
9	袋井北地区コミュニティ広場	S60	多目的広場	グラウンドゴルフ1面
10	山名コミュニティセンター トレーニング室	S60. 9	トレーニング室	約 120 m ²
11	笠原地区コミュニティ広場	S61	多目的広場	ソフト1面
12	愛野公園弓道場	S63. 4	弓道場	射場 171. 4 m ² 的場 70. 88 m ²
13	袋井B & G海洋センター	H1. 3	プール、 更衣室等	25m×6コース、 幼児用プール
14	浅羽西多目的運動広場	H2	多目的広場	ソフト1面
15	堀越公園多目的広場	H2. 5	多目的広場	ソフト1面、サッカー1面
16	浅羽東多目的運動広場	H3	多目的広場	ソフト1面
17	原野谷川スポーツ公園グラウ ンド	H4. 4	多目的広場	サッカー1面
18	二瀬多目的運動広場	H6. 10	多目的広場	サッカー1面
19	愛野公園相撲場	H7. 9	相撲場	野外土俵
20	国道1号バイパス高架下多目 的広場	H8. 2	多目的広場	ゲートボール3面、バスケ1 面、グラウンドゴルフ2面、多 目的広場3面
21	原野谷川親水公園東側広場	H8. 4	多目的広場	サッカー1面、ソフト2面
22	田原緑地グラウンド	H10. 3	多目的広場	サッカー1面
23	山名コミュニティセンターテ ニスコート	H10. 6	テニスコート	3面（砂入り人工芝）
24	月見の里学遊館水玉プール	H12. 12	プール、 更衣室等	25m×7コース、児童・幼児用 プール、ジャグジー、寝湯等
25	月見の里学遊館トレーニング ルーム	H12. 12	トレーニング室	約 100 m ²
26	月見の里学遊館フィットネス ルーム	H12. 12	フィットネス室	約 160 m ²
27	虹のささやき公園グラウンド	H13. 3	多目的広場	ソフト1面
28	エコパスタジアム	H13. 3	陸上トラック、 サッカー	陸上 400m トラック9レーン、 サッカー1面
29	エコパ補助競技場	H13. 3	陸上トラック、 サッカー	陸上 400m トラック6レーン、 サッカー1面

	施設名	完成	施設機能	競技場等の大きさ
30	エコパ投てき練習場	H13. 3	陸上	やり、砲丸、ハンマー、円盤投げ専用の練習場
31	エコパ多目的広場等	H13. 3	多目的広場	多目的運動広場、人工芝ピッチ、芝生広場③、グラウンド③
32	エコパアリーナ	H13. 12	競技場、多目的室、会議室、観客席等	競技場（バレー4面、バスケ4面、会議室等）
33	エコパアリーナトレーニングルーム	H13. 12	トレーニング室	約 370 m ²
34	エコパアリーナ研修室（フィットネス）	H13. 12	フィットネス室	113 m ²
35	広岡河川公園グラウンド	H14. 3	多目的広場	ソフト3面 (うち1面は R2.3 完成)
36	中遠クリーンセンター多目的広場	H20. 8	多目的広場	サッカー1面
37	エコパサブアリーナ	H21. 3	競技場、観客席等	競技場（バレー2面、バスケ2面）
38	風見の丘プール室	H23. 3	プール、更衣室等	25m × 6 コース・ 歩行用 20m × 2 コース、 こども用プール、ジャグジー等
39	風見の丘トレーニング室	H23. 3	トレーニング室	約 130 m ²
40	風見の丘フィットネス室	H23. 3	フィットネス室	約 100 m ²
41	宇刈里山公園多目的広場	H24. 4	多目的広場	ゲートボール、グラウンドゴルフ等3箇所
42	春岡多目的広場	H27. 3	多目的広場	サッカー1面、グラウンドゴルフ等
43	三川地区コミュニティ広場	H28. 3	多目的広場	ソフト1面、サッカー1面 グラウンドゴルフ等
44	三川地区コミュニティ広場 テニスコート	H28. 3	テニスコート	テニス2面（砂入り人工芝）
45	総合体育館「さわやかアリーナ」メインアリーナ	R1. 9	競技場、観客席	バレー3面、バスケ2面、 バドミントン8面
46	総合体育館「さわやかアリーナ」サブアリーナ	R1. 9	競技場	バレー1面、バスケ1面、 バドミントン4面
47	総合体育館「さわやかアリーナ」武道場兼多目的フロア	R1. 9	柔道場、剣道場等	約 581 m ² (柔道場2面、剣道場2面)
48	総合体育館「さわやかアリーナ」多目的室	R1. 9	多目的室	ダンス、エアロビクス、軽運動等
49	総合体育館「さわやかアリーナ」トレーニング室	R1. 9	トレーニング室	約 253 m ²
50	長溝テニスコート	—	テニスコート	1面
51	笠原コミュニティ広場	—	多目的広場	ソフト1面

② 市内学校体育施設（体育館、武道場）の建設状況

	学校名	建設年月	延床面積 (単位: m ²)	構造	経過年数 (単位: 年)
1	袋井南中学校体育館	S53. 1	1,292	S造	47
2	袋井西小学校体育館	S56. 3	729	S造	44
3	笠原小学校体育館	S56. 3	729	S造	44
4	袋井東小学校体育館	S57. 3	743	S造	43
5	三川小学校体育館	S57. 3	743	S造	43

	学校名	建設年月	延床面積 (単位: m ²)	構造	経過年数 (単位: 年)
6	袋井中学校体育館	S60.3	1,152	S造	40
7	袋井南小学校体育館	S61.3	919	S造	39
8	今井小学校体育館	S61.3	919	S造	39
9	袋井北小学校体育館	S62.3	1,049	S造	38
10	高南小学校体育館	S62.3	919	S造	38
11	浅羽東小学校体育館	H4.2	1,008	R造	33
12	袋井中学校武道場	H4.12	450	S造	32
13	周南中学校体育館	H5.3	1,390	S造	32
14	周南中学校武道場	H5.12	459	S造	31
15	袋井南中学校武道場	H5.12	455	S造	31
16	山名小学校体育館	H6.2	919	S造	31
17	浅羽南小学校体育館	H11.7	1,215	R造	25
18	浅羽中学校体育館	H19.2	1,516	S造	18
19	浅羽北小学校体育館	H22.2	949	S造	15
20	浅羽中学校武道場	R4.3	540	S造	3

※令和6年度公立学校施設台帳より。経過年数は2025年（令和7年）4月1日現在

③ 市内学校体育施設（グラウンド）の状況

	学校名	面積 (単位: m ²)	夜間照明施設の状況
1	袋井東小学校グラウンド	13,671	有
2	袋井西小学校グラウンド	13,067	
3	袋井南小学校グラウンド	10,909	
4	袋井北小学校グラウンド	9,571	
5	今井小学校グラウンド	5,957	有
6	三川小学校グラウンド	7,186	有
7	笠原小学校グラウンド	9,285	
8	山名小学校グラウンド	16,767	有
9	高南小学校グラウンド	11,817	有
10	浅羽南小学校グラウンド	10,003	
11	浅羽北小学校グラウンド	12,122	有
12	浅羽東小学校グラウンド	8,836	
13	袋井中学校グラウンド	17,367	有
14	周南中学校グラウンド	9,174	有
15	袋井南中学校グラウンド	21,969	有
16	浅羽中学校グラウンド	24,118	

※令和6年度公立学校施設台帳より

④ 主要な競技種目ごとの市内スポーツ施設利用人数について

順位	競技種目	利用人数	割合
1	水泳	128,457 人	22.71%
2	サッカー・フットサル	60,421 人	10.68%
3	バスケットボール	59,335 人	10.49%
4	トレーニング（ルーム）	58,624 人	10.36%
5	野球（少年野球含む）	50,911 人	9.00%
6	バレー・ソフトバレー	39,696 人	7.02%
7	卓球	32,831 人	5.80%
8	テニス・ソフトテニス	22,272 人	3.94%
9	フィットネス	17,621 人	3.11%
10	空手	16,579 人	2.93%
11	バドミントン・ファミリーバドミントン	12,272 人	2.17%
12	剣道	9,547 人	1.69%
13	ソフトボール	9,351 人	1.65%
14	インディアカ	6,300 人	1.11%
15	弓道	5,704 人	1.01%
16	体操	5,557 人	0.98%
17	吹奏楽・マーチング	4,437 人	0.78%
18	新体操	4,311 人	0.76%
19	柔道	4,161 人	0.74%
20	エアロビック	3,641 人	0.64%
21	陸上	3,571 人	0.63%
22	ジョギングコース	3,279 人	0.58%
23	相撲	1,853 人	0.33%
24	フーバ	1,572 人	0.28%
25	グラウンドゴルフ	1,517 人	0.27%
26	ダンス	707 人	0.12%
27	合気道	603 人	0.11%
28	バウンドテニス	456 人	0.08%
29	その他	102 人	0.02%
合 計		565,688 人	100.0%

※令和6年度利用者数

⑤ 市内公共スポーツ施設の利用状況

ア 体育館

単位：人

No.	学校名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	浅羽体育センター	13,117	13,137	28,154	25,705	39,483
2	袋井体育センター	26,767	27,468	27,240	28,931	26,687
3	総合体育館「さわやかアリーナ」	39,989	80,298	62,314	74,776	82,277
合 計		79,873	120,903	117,708	129,412	148,447

イ 武道場

単位：人

No.	学校名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	愛野公園相撲場	108	216	542	623	1,853
2	愛野公園弓道場	2,889	3,100	3,059	6,758	5,704
3	総合体育館「さわやかアリーナ」	10,571	11,281	15,880	17,444	19,188
合 計		13,568	14,597	19,481	24,825	26,745

ウ 野球場

単位：人

No.	学校名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	浅羽球技場	11,585	14,409	17,741	20,165	23,674
2	愛野公園野球場	7,461	8,702	7,503	10,739	9,238
合 計		19,046	23,111	25,244	30,904	32,912

エ テニスコート

単位：人

No.	学校名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	愛野公園テニスコート	9,295	9,541	9,738	14,283	11,197
2	浅羽テニスコート	11,066	10,268	8,766	8,522	9,707
3	長溝テニスコート	536	719	719	819	789
合 計		20,897	20,528	19,223	23,624	21,693

オ プール

単位：人

No.	学校名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	袋井B & G海洋センター	25,276	47,837	57,992	60,514	53,139
2	月見の里学遊館水玉プール	21,959	41,564	41,564	30,505	40,748
3	風見の丘プール	39,568	38,226	39,384	42,828	41,821
合 計		86,803	127,627	138,940	133,847	135,708

カ トレーニングルーム

単位：人

No.	学校名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	さわやかアリーナトレーニング室	21,711	22,323	28,118	35,102	41,269
2	月見の里学遊館トレーニングルーム	24,591	2,555	2,555	1,878	2,831
3	風見の丘トレーニング室	7,114	7,738	10,097	11,708	13,360
合 計		53,416	32,616	40,770	48,688	57,460

キ 多目的広場等

単位：人

No.	学校名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	原野谷川親水公園東側広場	4,550	8,603	12,274	8,075	8,130
2	堀越公園多目的広場	9,595	10,559	8,204	7,429	6,786
3	国道1号バイパス高架下多目的広場	2,118	1,870	2,127	3,185	2,581
4	上田町グラウンド	560	—	—	—	—
5	広岡河川公園グラウンド	5,254	9,935	10,126	9,774	12,113
6	浅羽北多目的運動広場	4,029	5,556	5,556	5,432	5,731
7	二瀬多目的運動広場	8,150	7,053	719	9,500	3,105
合 計		34,256	43,576	39,006	43,395	38,446

※上田町グラウンドは令和2年4月～6月までの実績。令和2年7月以降は共用廃止。

※広岡河川公園グラウンドは令和2年7月からの実績。

ク 公立学校開放施設

単位：人

No.	学校名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	小学校体育館（12校）	53,899	59,823	92,318	98,238	100,808
2	中学校体育館（4校）	17,325	14,717	21,297	24,720	26,432
3	中学校柔剣道場（4校）	9,697	10,051	11,613	10,094	11,030
4	小学校グラウンド（12校）	12,614	13,994	36,452	38,485	39,231
5	中学校夜間グラウンド（3校）	10,516	12,540	16,011	15,991	14,747
合 計		104,051	111,125	177,691	187,528	192,248

ケ エコパ（小笠山総合運動公園）

単位：人

No.	学校名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	エコパスタジアム	47,404	49,087	68,382	75,124	84,269
2	エコパアリーナ	4,204	9,473	48,151	43,274	69,829
3	エコパサブアリーナ	11,852	20,430	25,160	27,468	40,277
4	エコパ補助競技場	15,402	20,540	32,238	35,003	39,097
5	エコパアリーナトレーニングルーム	29,079	33,125	34,262	38,668	37,497
6	エコパアリーナ内研修室（フィットネス）	2,069	3,051	3,909	4,381	3,402
7	その他	43,310	48,235	70,496	73,208	69,159
合 計		153,320	183,941	282,598	297,126	343,530

（3）スポーツ団体の状況

① 市スポーツ協会競技部別部員数の状況（2025年度（令和7年度）当初現在）

No.	競技部名	所属部員数	種目別割合
1	サッカーチーム	550人	27.2%
2	野球部	465人	23.0%
3	グラウンドゴルフ部	112人	5.5%
4	ソフトボール部	102人	5.0%
5	水泳部	75人	3.7%
6	空手部	70人	3.5%
7	剣道部	68人	3.4%
8	バスケットボール部	60人	3.0%
9	新体操部	53人	2.6%
10	弓道部	51人	2.5%
11	インディアカ部	50人	2.5%
12	バレーボール部	48人	2.4%
13	ゴルフ部	45人	2.2%
14	バウンドテニス部	40人	2.0%
15	山の会	38人	1.9%
16	陸上競技部	37人	1.8%
17	クレー射撃部	31人	1.5%
18	柔道部	26人	1.3%
19	エアロビック部	20人	1.0%
20	合気道部	20人	1.0%
21	卓球部	15人	0.7%
22	タグラグビー	15人	0.7%
23	ウェルネススポーツ吹矢	13人	0.6%
24	相撲部	10人	0.5%
25	トランポリン	6人	0.3%
合 計		2,020人	100.0%
(合計数のうち、少年団員数)		383人	斜線

② 市スポーツ少年団の状況（2025年度（令和7年度）当初現在）

No.	競技部名	登録団体数	登録団員数	指導者・スタッフ数
1	野球	7団体	122人	39人
2	卓球	3団体	56人	20人
3	空手	3団体	47人	9人
4	サッカー	2団体	49人	6人
5	バレー・ボール	2団体	48人	14人
6	陸上競技	1団体	18人	12人
7	水泳	1団体	15人	3人
8	ミニバスケット	1団体	10人	2人
9	剣道	1団体	18人	3人
合 計		21団体	383人	108人

（4）中学校・高等学校運動部員数の状況

① 市内中学校の運動部員数の加入状況（2025年度（令和7年度）当初現在）

No.		袋井	袋井南	周南	浅羽	計	種目別割合
1	陸上競技	81人	80人	77人	51人	289人	19.6%
2	男子卓球	31人	41人	57人	30人	159人	10.8%
3	女子ソフトテニス	54人	32人	38人	30人	154人	10.5%
4	サッカー	44人	33人	46人	26人	149人	10.1%
5	男子バスケット	25人	37人	35人	31人	128人	8.7%
6	女子卓球	33人	25人	23人	25人	106人	7.2%
7	女子バレー	18人	21人	24人	33人	96人	6.5%
8	水泳	17人	28人	29人	21人	95人	6.5%
9	男子ソフトテニス	33人	—	—	41人	74人	5.0%
10	野球	7人	15人	13人	22人	57人	3.9%
11	剣道	12人	26人	10人	8人	56人	3.8%
12	女子バスケット	27人	—	11人	18人	56人	3.8%
13	ソフトボール	18人	—	—	12人	30人	2.0%
14	男子バレー	17人	—	—	—	17人	1.2%
15	柔道	6人	—	—	—	6人	0.4%
合 計		423人	338人	363人	348人	1,472人	100%
全校生徒数		804人	487人	727人	530人	2,548人	斜線
加入率		52.6%	69.4%	49.9%	65.7%	57.8%	斜線

② 市内高等学校の運動部員数の加入状況（2025年度（令和7年度）当初現在）

高校名	全校生徒	加入者数	加入率	運動部活動種目
袋井高校	771人	427人	55%	野球、陸上競技、サッカー、卓球、水泳、男女テニス、男女バスケットボール、男女バレー、弓道、剣道、ダンス、バドミントン
袋井商業	376人	191人	51%	野球、陸上競技、サッカー、卓球、水泳、男女テニス、男女バスケットボール、女子バレー

（5）指導者の状況

① 市スポーツ推進委員の状況（2025年度（令和7年度）当初現在）

スポーツ推進員数			人口	スポーツ推進委員 1人当たり住民数	活動内容
男	女	合計			
14人	14人	28人	87,635人	3129.8人	スポーツ基本法の規定に基づき、地域住民に対し、スポーツ実技などの指導を行います。

② 市内の各スポーツ指導者の状況（2025年度（令和7年度）当初現在）

ア（財）日本体育協会公認スポーツ指導者数

種目	登録者数	活動内容
水泳	13人	
ソフトボール	13人	
バレー	16人	
弓道	7人	
陸上競技	7人	
テニス	2人	
ソフトテニス	4人	
剣道	2人	
空手道	4人	
エアロビック	1人	
プロスキー	1人	
卓球	1人	
新体操	3人	
柔道	1人	
ボート	1人	
スケート	1人	
なぎなた	1人	
ジュニアスポーツ指導員	14人	資格を取得した指導者（資格者）は、個々のクラブ教室、または少年団の指導者として活動をしています。また、学校部活動の外部指導者にも多くの指導者が活躍しています。 昨今の取り上げられる、スポーツ現場での暴力やハラスメントなどのあらゆる反倫理的行為に対して、指導者制度改定を行い、指導者資質の向上を一層図っています。

種目	登録者数	活動内容
スポーツプログラマー	1人	
アスレティックトレーナー	7人	
スポーツ栄養士	1人	
スポーツリーダー	8人	
スタートコーチ(ジュニア・ユース)	22人	
スポーツコーチングリーダー	46人	
スタートコーチ(教員免許状所持者)	1人	
スポーツデンティスト	1人	
トランポリン	1人	
ラグビーフットボール	1人	
山岳	1人	
自転車競技	1人	
バドミントン	2人	

【再掲】

資格を取得した指導者(資格者)は、個々のクラブ教室、または少年団の指導者として活動をしています。また、学校部活動の外部指導者にも多くの指導者が活躍しています。

昨今の取り上げられる、スポーツ現場での暴力やハラスメントなどのあらゆる反倫理的行為に対して、指導者制度改定を行い、指導者資質の向上を一層図っています。

イ (財) 日本レクリエーション協会公認指導者数

名称	指導者数			指導内容
	男	女	合計	
レクリエーション・インストラクター	6人	13人	19人	レクリエーション全般にわたる指導を行います。

ウ スポーツ少年団指導者

名称	有資格者数	指導内容
スポーツコーチングリーダー	32人	
スタートコーチ(ジュニア・ユース)	8人	
上記以外の日本スポーツ協会等の公認資格所持者	16人	
合 計	56人	スポーツ少年団指導者の中核であるとともに市町・県スポーツ少年団の組織指導者として活動の活性化を図ります。 地域における単位団活動の中心指導者として指導・運営にあたります。

◆持続可能な開発目標（SDGs）との関係について

2015年（平成27年）に国連サミットにおいて、先進国を含む国際社会全体の開発目標として「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択されました。「持続可能な開発目標（SDGs）」は、2030年（令和12年）までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、17の目標・169のターゲットから構成されています。

本計画では、第4章で示す各施策と、「持続可能な開発目標（SDGs）」の各目標との関係性を整理し、関連付けて推進していきます。

【図表資－5 持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標】



【図表資－6 特に本計画と関連する目標】

	あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する		全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
	強靭（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る		各国内及び各国間の不平等を是正する
	包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する		持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

第5次袋井市スポーツ推進計画

発行年月 令和8年●月

発 行 静岡県袋井市

編 集 市民生活部 スポーツ政策課

〒437-8666 静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1
電 話：0538-44-3139 FAX：0538-44-3117